

令和 6 年度大阪府献血推進審議会

日 時 令和 7 年 2 月 19 日（水）
午後 2 時～午後 4 時
開催場所 K K R ホテル大阪 2 階 「白鳥」

1 開 会

2 議 題

- （１）会長の選出について
- （２）令和 7 年度大阪府献血推進計画（案）について

3 報 告

- （１）大阪府における血液事業の現況
- （２）献血推進に係る大阪府の取組み
- （３）大阪府学生献血推進協議会活動報告

4 そ の 他

5 閉 会

配布資料

- ・ 配席図
- ・ 【資料 1】 令和 7 年度大阪府献血推進計画（案）
- ・ 【資料 2】 大阪府における血液事業の現況（大阪府赤十字血液センター）
- ・ 【資料 3】 献血推進に係る大阪府の取組み（大阪府医療対策課）
- ・ 【資料 4】 大阪府学生献血推進協議会活動報告（大阪府学生献血推進協議会）
- ・ 【参考資料 1】 大阪府献血推進審議会規則
- ・ 【参考資料 2】 令和 6 年度近畿地方 DMAT ブロック訓練関連資料
- ・ 【参考資料 3】 血液センターからの供給関連の情報提供

大阪府献血推進計画（案）

大 阪 府

令和 7 年（2025 年）●月

目 次

第1	目的及び基本理念	1
1.	目的	1
2.	基本理念	1
第2	計画目標.....	1
1.	献血者数、献血血液量	1
2.	年代別献血者数	2
3.	献血セミナー数	2
第3	献血推進.....	2
1.	役割	2
2.	推進体制の整備	3
3.	方策	4
<資料>	令和7年度献血目標	8

大 阪 府 献 血 推 進 計 画

第1 目的及び基本理念

1. 目的

大阪府をはじめ全国的に少子高齢社会が進行する中、輸血用血液製剤及び血漿分画製剤（以下「血液製剤」という。）の国内自給の原則に基づき、大阪府、市町村、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターが連携し、献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発や、効率的な献血の実施を図り、年間を通じて献血者を安定的に確保することにより、府内で必要とされる輸血用血液を医療機関に安定的に供給することを目的とする。

2. 基本理念

大阪府の献血推進に当たっては、以下の基本理念にのっとり進めるものとする。

（1）血液製剤の国内自給

血液製剤は、原料である血液を介した感染症等の発生の危険性を完全には排除できないものであり、国内献血に由来する血液製剤であれば感染源の特定・回収等の対応が迅速に取りやすいことから、国内で献血された血液から製造されるもので賄わなければならない。

（2）安全性の向上

血液製剤は、原料である血液の特性から、常に安全性向上の努力が必要である。また、使用にあたっては、危険性に対する配慮が求められる。

（3）適正使用の推進

血液製剤が人の血液に由来する有限で貴重なものであることから、医療機関において血液製剤の適正使用を一層推進することが必要である。

（4）血液事業の情報の公開

血液製剤は、献血者の善意から得られた血液を用いていることから、情報を積極的に府民へ提供する必要がある。

なお、本計画は、平成27年（2015年）9月に国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals：SDGs）」の理念を踏まえたものであり、各取組の推進により、関連するゴールの達成に貢献する。



第2 計画目標

1. 献血者数、献血血液量

国の示す献血確保目標量及び原料血漿確保目標量に基づき、医療機関への輸血用血液製剤の供給量を考慮し、献血者確保数等を定める。

①献血者数（200mL、400mL、成分献血）、献血血液量確保目標量

	全血献血		成分献血		合計
	200mL	400mL	血漿	血小板	
献血者数（人）	4,212	252,824	84,805	46,483	388,324
献血血液確保目標量（L）	842	101,130	48,386	24,710	175,069

※表示単位未満四捨五入の処理をしているため、合計欄と一致しない場合があること。

②採血場所別献血者数

採血場所	血液センター	献血ルーム	移動採血車（オープン献血含む）
献血者数（人）	19,816	259,623	108,885

③原料血漿確保目標量、輸血用血液確保目標量

原料血漿確保目標量： 97,282 L

輸血用血液確保目標量：77,787 L

（詳細は資料参照）

2. 年代別献血者数

総献血者数に占める年代別の構成比率をなるべく均一にし、将来にわたり安定的に献血者を確保するため、年代別献血者数を定める。

	献血者数（人）	構成比
10代（16～19歳）	19,599	5.0%
20代（20～29歳）	65,500	16.9%
30代（30～39歳）	66,300	17.1%
40代以上（40～69歳）	236,925	61.0%
合計	388,324	100.0%

※表示単位未満四捨五入の処理をしているため、合計欄と一致しない場合があること。

3. 献血セミナー数

これからの献血を担う若年層への教育の推進を目的として、高等学校等における「献血セミナー」開催の目標回数を定める。

「献血セミナー」開催目標回数：50回

第3 献血推進

府、市町村、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターは、それぞれ分担する業務を確実に遂行するとともに、十分な連携を図り、国が策定する基本方針を踏まえながら、府民、学生献血推進ボランティアをはじめ各種献血協力団体の理解と協力のもとに献血を推進する。特に、将来に亘る血液の安定供給につながる若年層への啓発に取り組む。

1. 役割

（1）府

府は、翌年度の大阪府献血推進計画を策定する。その場合、大阪府献血推進審議会において審議するものとする。また、広域的な広報・啓発を通して広く府民の理解と協力を求

めるため、市町村献血推進協議会の活動を支援するとともに、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センター、市町村等の相互間の調整を行い、円滑な献血推進に努める。

(2) 市町村

府、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターと連携のもとに、市町村管内の献血者の計画的な確保に努める。

また、市町村献血推進協議会と連携し、地域における献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発に努める。

(3) 日本赤十字社大阪府支部・大阪府赤十字血液センター

本府の献血確保目標を達成するため、献血受入計画を策定するとともに、近畿ブロック血液センターと連携をしながら、採血から製造、供給に至るまでその効率化を図り、献血血液の有効利用に努める。

また、血液製剤の安全性の向上及び安定供給に協力するとともに、献血者等の保護に努める。

2. 推進体制の整備

目標を達成するため、行政機関、血液事業関係者、民間企業、ボランティア献血組織等の府全体の献血推進組織体制を整備し、連携の強化に努める。

(1) 府

①大阪府献血推進審議会の開催

大阪府における献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発や血液製剤の適正な使用に関する施策について審議する。

②市町村・市町村献血推進協議会等との連携

大阪府における献血状況、献血目標、事業計画を会議等で示し、市町村、市町村献血推進協議会、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターとの連携を図り献血を推進する。

③献血ボランティア組織等の育成や献血に協賛する企業の確保など献血推進体制の整備に努める。

④広域的な献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発体制の整備に努める。

⑤献血血液を有効に使用するため、医療機関における血液製剤の適正使用を推進する。

(2) 市町村

①市町村献血推進協議会等の開催

市町村において献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発並びに年間を通じた計画的な献血者の確保等、地域の献血に関する重要事項を協議する。

②地域住民への献血への理解と協力を求めるため、研修会、街頭キャンペーン、広報等の実施体制の整備に努める。

③献血ボランティア組織等の育成や献血に協賛する企業の確保など献血推進体制の整備に努める。

(3) 日本赤十字社大阪府支部・大阪府赤十字血液センター

①府、市町村との連携・協力のもとに、献血者への正しい知識や必要性、血液製剤につい

ての普及啓発と受入体制の整備を図る。

②献血協力団体の組織等の育成及び献血者の円滑な受入体制の整備に努める。

③企業等に対して、献血セミナーを実施し、献血の推進を図るとともに、献血に協賛する企業の円滑な受入に努める。

(4) 教育委員会・学校

小学校・中学校・高等学校の総合的な学習（探究）の時間等において、“献血セミナー”を活用する等、献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発に努める。

また、府、市町村等が実施する献血推進イベント等の周知並びに参加を通し、児童・生徒へ献血の知識等の普及ができる体制を整備する。

(5) 献血協力団体

移動採血車等の受入れ時に関係者等と連携し、積極的に協力を呼びかけるとともに、進んで献血しやすい環境作りを推進することが望ましい。

3. 方策

(1) 普及啓発

献血は府民の善意によるものであることから府民啓発は必要不可欠であるので、府、市町村、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターは、ボランティア等関係者の理解と協力を得て、各種イベントの実施、推進月間でのキャンペーンの実施、マスメディアによる継続的な広報、SNSを含むインターネットの活用、献血啓発作品の募集事業の活用等を行うことで、献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発を実施する。

1) 若年層献血の推進

小学校・中学校・高等学校、大学及び専門学校における“献血セミナー”の開催や、“献血セミナー”等をきっかけとして献血に関心を持った献血未経験者等への献血Web会員サービス「ラブラッド」の登録の働きかけ、若年層による献血キャンペーン等を実施することで、若年層の献血への参加を一層推進する。

特に高校生等の献血時には、400mL献血の基準に満たない場合、200mL献血による受入れも考慮する。

2) 複数回献血の推進

血液製剤の安全性の向上及び安定的な確保を図るために、「ラブラッド」会員募集を強化するとともに、「ラブラッド」を活用し、献血等に関する情報の提供など利用者へのサービス向上を図り、複数回献血者の増加に努める。

特に若年層に対し、上記1)等の取組を通じて、複数回献血の推進を図る。

3) 400mL献血、成分献血の推進

献血量の効率的な確保と安全性を高めるために400mL献血、成分献血の一層の推進に努める。

また、近年需要が増大している免疫グロブリン製剤等の血漿分画製剤について、献血から得られた血液を原料とすることや、多くの疾患の治療に欠かすことができないことなどを周知するとともに、安定供給が確保されるよう、成分献血への協力の呼びかけを強化する。

4) 検査目的の献血の防止

感染症の検査を目的とした献血を防止するための啓発を実施する。特にH I V検査については、下記の点を周知する。

- ・血液センターでは、献血によるH I V検査の結果は通知していない
- ・府内保健所等で匿名かつ無料でのH I V検査を行っている

5) 採血基準の周知

採血基準について、引き続き関係機関への周知や広報等を利用し、情報発信を行う。

(2) 献血推進の環境整備

府、市町村、大阪府赤十字血液センターは、献血者の受入体制を整備する観点から、身近な地域・場所で献血を行うことができるように環境を整備する。

また、府及び市町村等は、その構成員に対し、ボランティア活動である献血に対し積極的に呼びかけるとともに、進んで献血しやすい環境作りに努める。

①大阪府赤十字血液センター

- 1) 「献血者等の健康被害の補償に関するガイドライン」に基づき、健康被害に対する救済のための措置を実施する。
- 2) 採血に際して献血者の健康管理に資する検査を行い、献血者の希望を確認してその結果を通知することで健康管理サービスの充実を図る。
- 3) 献血希望者に対して、個人情報取り扱いや血液の利用目的等の説明を行い、同意を得た上で、献血を受け入れる。
- 4) 特に初回献血者が抱えている不安等を軽減することはもとより、献血者の安全確保を図ることが必要である。このため、採血の手順や採血後に十分な休憩をとる必要性、気分が悪くなった場合の対処方法等について、映像やリーフレット等を活用した事前説明を採血の度ごとに十分に行う。
- 5) 献血ができなかった献血申込者に対し、その理由（低ヘモグロビン等）について分かりやすく説明するとともに、食事・生活管理の改善に関する啓発を行うなど、その後の献血推進への協力に繋がるよう配慮する。
- 6) 新興・再興感染症のまん延下の状況であっても、献血者が安心して献血できるよう感染症対策を十分に行うとともに、献血者への対策についての情報発信を適切に行う。

②府、市町村、大阪府赤十字血液センター

- 1) 年間を通して献血者の安定確保ができるように、移動採血車による計画的採血及び献血場所の利便性の向上に努める。
- 2) 献血者に配慮した献血受入時間帯の設定等、献血者の利便性に配慮した献血受入体制の整備及び充実を図る。特に、「ラブラッド」を活用したW E B予約の推進等に積極的に取り組む。
- 3) 企業等の献血協力団体の理解と協力を得て、効率的な献血が行えるように体制整備に努める。特に若年層の労働者の献血への参加を一層推進する。

(3) 血液製剤の安全性確保

血液製剤の安全性確保のために、以下の方策を講じる。

①大阪府赤十字血液センター

献血受付時に本人確認を行い、より安全な血液を確保するために、H I V等の感染症の

検査を目的とした献血を行わないよう、平素から様々な広報手段を用いて、府民に周知徹底する。

②府、市町村、大阪府赤十字血液センター

- 1) 血液製剤の安全性向上のために、400mL献血、成分献血の一層の推進を図る。
- 2) 血液製剤の安定供給や安全性確保のために、複数回献血者の確保に努める。

(4) 血液製剤の適正使用

府、大阪府赤十字血液センターは、各医療機関における血液製剤の適正使用の推進を図り、院内の輸血管理体制を構築するために設置されている輸血療法委員会の活性化の推進に努める。

(5) ボランティア等の育成

府、市町村、大阪府赤十字血液センターは相互に連携し、ボランティア等協力団体に献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての理解と協力を求め、献血推進の活性化につなげる。

また、府、市町村、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターは、教育委員会等の協力を得ながら、職域、地域、学校等におけるボランティア等協力団体の育成に努め、献血推進の活性化を図る。

(6) 情報の公開

府、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターは献血及び血液製剤に関する情報を積極的に公開する。

- 1) 献血者の個人情報保護のもとに、献血血液の確保・利用状況や血液製剤の安全性に関する情報をわかりやすい形で広く府民に公開する。
- 2) 現在開設しているホームページを充実させ、積極的かつ継続的に情報を提供する。

(7) 血液製剤の在庫状況の把握と不足時の対応

①府

赤血球製剤等の在庫状況を常に把握する。また、在庫が不足または不足すると予測される場合、広報による献血協力呼びかけ、臨時的に府職員献血等の実施、関係団体等への献血依頼等により、献血者の確保に努める。

②市町村

必要に応じて府等により提供される赤血球製剤等の在庫状況により府内の現状を把握し、在庫が不足または不足すると予測される場合、市町村献血推進協議会との連携等により、臨時的に地域献血や市町村職員献血等を実施し、献血者の確保に努める。

③日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センター

府内の在庫状況を常に府へ情報提供するものとする。在庫が不足または不足すると予測される場合、献血協力呼びかけの強化を行う。また、受付時間の延長、配車計画の見直し等により、献血者の円滑な受入に努める。

(8) 災害時、新興・再興感染症まん延時等における献血の確保

府、市町村、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターは、互いに連携を図り、以下の方策を講じる。

- 1) 災害時等に医療需要に応じた必要な血液量を確保できるよう、様々な広報手段を用いて、献血への協力を呼びかける。その際、大阪府赤十字血液センターは、被害状況等の

情報収集を行ったうえで、献血受入れの可否について判断するなど、献血者の安全に十分に配慮する。

- 2) 大阪府赤十字血液センターは、災害時等における献血受入体制を構築し、関係者との通信手段の確保、広域的な需給調整の対応を含む事業継続計画を定め、府、市町村、日本赤十字社大阪府支部と連携して対応できるよう備えることにより、災害時等における献血の受入れを行う。
- 3) 採血事業は、医療体制の維持に不可欠なものであることを踏まえ、大阪府赤十字血液センターは、新興・再興感染症のまん延下の状況であっても、医療需要に応じた血液製剤の安定供給を図るため、安心・安全な献血環境の保持と献血者への感染防止を図るとともに、様々な広報手段（テレビ、ラジオ、SNSを含むインターネット等）を用いて、献血者への協力を呼びかける。また、府及び市町村はこの取組を支援する。

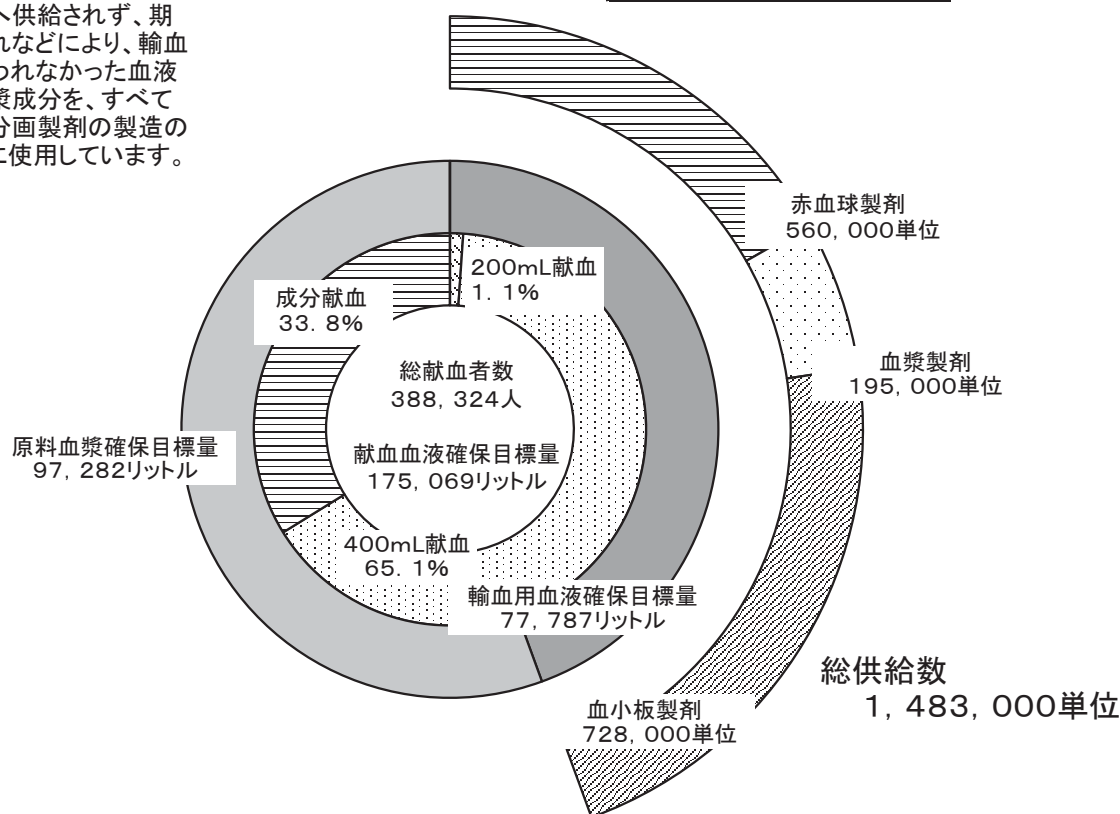
令和7年度 献血目標

献血していただいた血液は、医療機関に送られ、がん、血液や造血器の病気、各種感染症、やけど、交通事故などの患者さんの治療に幅広く使用されます。

・血漿分画製剤に必要な血漿量は、全国で124万リットル(令和7年度)です。

・血液センターでは、医療機関へ供給されず、期限切れなどにより、輸血に使われなかった血液の血漿成分を、すべて血漿分画製剤の製造のために使用しています。

*より一層の安全性向上のため、400mL献血の献血目標割合を、98.4%(全血献血中構成比)としました。



・医療機関では患者さんの病気や症状によりそれぞれ血液製剤が輸血されます。

・1単位は、約200mLの血液から得られる各製剤の量です。

令和7年度献血目標								
		献血者数 (人)	構成比(%)	献血量(L)	採血場所別献血者目標(人)			
					血液センター	献血ルーム	移動採血車 (オープン献血含む)	
全血献血	200mL	4,212	1.1%	842	101	1,752	2,359	
	400mL	252,824	65.1%	101,130	9,114	137,184	106,526	
成分献血	血 漿	84,805	33.8%	48,386	4,732	80,073	0	
	血小板	46,483		24,710	5,869	40,614	0	
合 計		388,324		175,069	19,816	259,623	108,885	

大阪府献血推進計画 新旧対照表

令和 7 年度献血推進計画	令和 6 年度献血推進計画	変更理由																																																												
第 1 目的及び基本理念（略） 第 2 計画目標 1. 献血者数、献血血液量 国の示す献血確保目標量及び原料血漿確保目標量に基づき、医療機関への輸血用血液製剤の供給量を考慮し、献血者確保数等を定める。 ①献血者数（200mL、400mL、成分献血）、献血血液量確保目標量 <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">全血献血</th><th colspan="2">成分献血</th><th rowspan="2">合計</th></tr><tr><th>200mL</th><th>400mL</th><th>血漿</th><th>血小板</th></tr><tr><td>献血者数（人）</td><td><u>4,212</u></td><td><u>252,824</u></td><td><u>84,805</u></td><td><u>46,483</u></td><td><u>388,324</u></td></tr><tr><td>献血血液確保目標量（L）</td><td><u>842</u></td><td><u>101,130</u></td><td><u>48,386</u></td><td><u>24,710</u></td><td><u>175,069</u></td></tr></table> ※表示単位未満四捨五入の処理をしているため、合計欄と一致しない場合があること。 ②採血場所別献血者数 <table><tr><th>採血場所</th><th>血液センター</th><th>献血ルーム</th><th>移動採血車（オープン献血含む）</th></tr><tr><td>献血者数（人）</td><td><u>19,816</u></td><td><u>259,623</u></td><td><u>108,885</u></td></tr></table> ③原料血漿確保目標量、輸血用血液確保目標量 原料血漿確保目標量： <u>97,282</u> L 輸血用血液確保目標量： <u>77,787</u> L （詳細は資料参照）		全血献血		成分献血		合計	200mL	400mL	血漿	血小板	献血者数（人）	<u>4,212</u>	<u>252,824</u>	<u>84,805</u>	<u>46,483</u>	<u>388,324</u>	献血血液確保目標量（L）	<u>842</u>	<u>101,130</u>	<u>48,386</u>	<u>24,710</u>	<u>175,069</u>	採血場所	血液センター	献血ルーム	移動採血車（オープン献血含む）	献血者数（人）	<u>19,816</u>	<u>259,623</u>	<u>108,885</u>	第 1 目的及び基本理念（略） 第 2 計画目標 1. 献血者数、献血血液量 国の示す献血確保目標量及び原料血漿確保目標量に基づき、医療機関への輸血用血液製剤の供給量を考慮し、献血者確保数等を定める。 ①献血者数（200mL、400mL、成分献血）、献血血液量確保目標量 <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">全血献血</th><th colspan="2">成分献血</th><th rowspan="2">合計</th></tr><tr><th>200mL</th><th>400mL</th><th>血漿</th><th>血小板</th></tr><tr><td>献血者数（人）</td><td><u>5,386</u></td><td><u>251,700</u></td><td><u>82,220</u></td><td><u>47,710</u></td><td><u>387,016</u></td></tr><tr><td>献血血液確保目標量（L）</td><td><u>1,077</u></td><td><u>100,680</u></td><td><u>46,715</u></td><td><u>25,988</u></td><td><u>174,460</u></td></tr></table> ※表示単位未満四捨五入の処理をしているため、合計欄と一致しない場合があること。 ②採血場所別献血者数 <table><tr><th>採血場所</th><th>血液センター</th><th>献血ルーム</th><th>移動採血車（オープン献血含む）</th></tr><tr><td>献血者数（人）</td><td><u>19,846</u></td><td><u>256,847</u></td><td><u>110,323</u></td></tr></table> ③原料血漿確保目標量、輸血用血液確保目標量 原料血漿確保目標量： <u>92,916</u> L 輸血用血液確保目標量： <u>81,544</u> L （詳細は資料参照）		全血献血		成分献血		合計	200mL	400mL	血漿	血小板	献血者数（人）	<u>5,386</u>	<u>251,700</u>	<u>82,220</u>	<u>47,710</u>	<u>387,016</u>	献血血液確保目標量（L）	<u>1,077</u>	<u>100,680</u>	<u>46,715</u>	<u>25,988</u>	<u>174,460</u>	採血場所	血液センター	献血ルーム	移動採血車（オープン献血含む）	献血者数（人）	<u>19,846</u>	<u>256,847</u>	<u>110,323</u>	時点更新 時点更新 時点更新
		全血献血		成分献血			合計																																																							
	200mL	400mL	血漿	血小板																																																										
献血者数（人）	<u>4,212</u>	<u>252,824</u>	<u>84,805</u>	<u>46,483</u>	<u>388,324</u>																																																									
献血血液確保目標量（L）	<u>842</u>	<u>101,130</u>	<u>48,386</u>	<u>24,710</u>	<u>175,069</u>																																																									
採血場所	血液センター	献血ルーム	移動採血車（オープン献血含む）																																																											
献血者数（人）	<u>19,816</u>	<u>259,623</u>	<u>108,885</u>																																																											
	全血献血		成分献血		合計																																																									
	200mL	400mL	血漿	血小板																																																										
献血者数（人）	<u>5,386</u>	<u>251,700</u>	<u>82,220</u>	<u>47,710</u>	<u>387,016</u>																																																									
献血血液確保目標量（L）	<u>1,077</u>	<u>100,680</u>	<u>46,715</u>	<u>25,988</u>	<u>174,460</u>																																																									
採血場所	血液センター	献血ルーム	移動採血車（オープン献血含む）																																																											
献血者数（人）	<u>19,846</u>	<u>256,847</u>	<u>110,323</u>																																																											

2. 年代別献血者数

総献血者数に占める年代別の構成比率をなるべく均一にし、将来にわたり安定的に献血者を確保するため、年代別献血者数を定める。

	献血者数（人）	構成比
10代（16～19歳）	<u>19,599</u>	<u>5.0%</u>
20代（20～29歳）	<u>65,500</u>	<u>16.9%</u>
30代（30～39歳）	<u>66,300</u>	<u>17.1%</u>
40代以上（40～69歳）	<u>236,925</u>	<u>61.0%</u>
合計	<u>388,324</u>	<u>100.0%</u>

※表示単位未満四捨五入の処理をしているため、合計欄と一致しない場合があること。

3. 献血セミナー数

これからの献血を担う若年層への教育の推進を目的として、高等学校等における「献血セミナー」開催の目標回数を定める。

「献血セミナー」開催目標回数：50回

第3 献血推進

1. 役割（略）

2. 推進体制の整備（略）

3. 方策

（略）

（3）400mL献血、成分献血の推進

献血量の効率的な確保と安全性を高めるために400mL献血、成分献血の一層の推進に努める。

2. 年代別献血者数

総献血者数に占める年代別の構成比率をなるべく均一にし、将来にわたり安定的に献血者を確保するため、年代別献血者数を定める。

	献血者数（人）	構成比
10代（16～19歳）	<u>19,599</u>	<u>5.1%</u>
20代（20～29歳）	<u>65,500</u>	<u>16.9%</u>
30代（30～39歳）	<u>66,300</u>	<u>17.1%</u>
40代以上（40～69歳）	<u>235,617</u>	<u>60.9%</u>
合計	<u>387,016</u>	<u>100.0%</u>

※表示単位未満四捨五入の処理をしているため、合計欄と一致しない場合があること。

3. 献血セミナー数

これからの献血を担う若年層への教育の推進を目的として、高等学校等における「献血セミナー」開催の目標回数を定める。

「献血セミナー」開催目標回数：35回

第3 献血推進

1. 役割（略）

2. 推進体制の整備（略）

3. 方策

（略）

（3）400mL献血、成分献血の推進

献血量の効率的な確保と安全性を高めるために400mL献血、成分献血の一層の推進に努める。

時点更新

時点更新

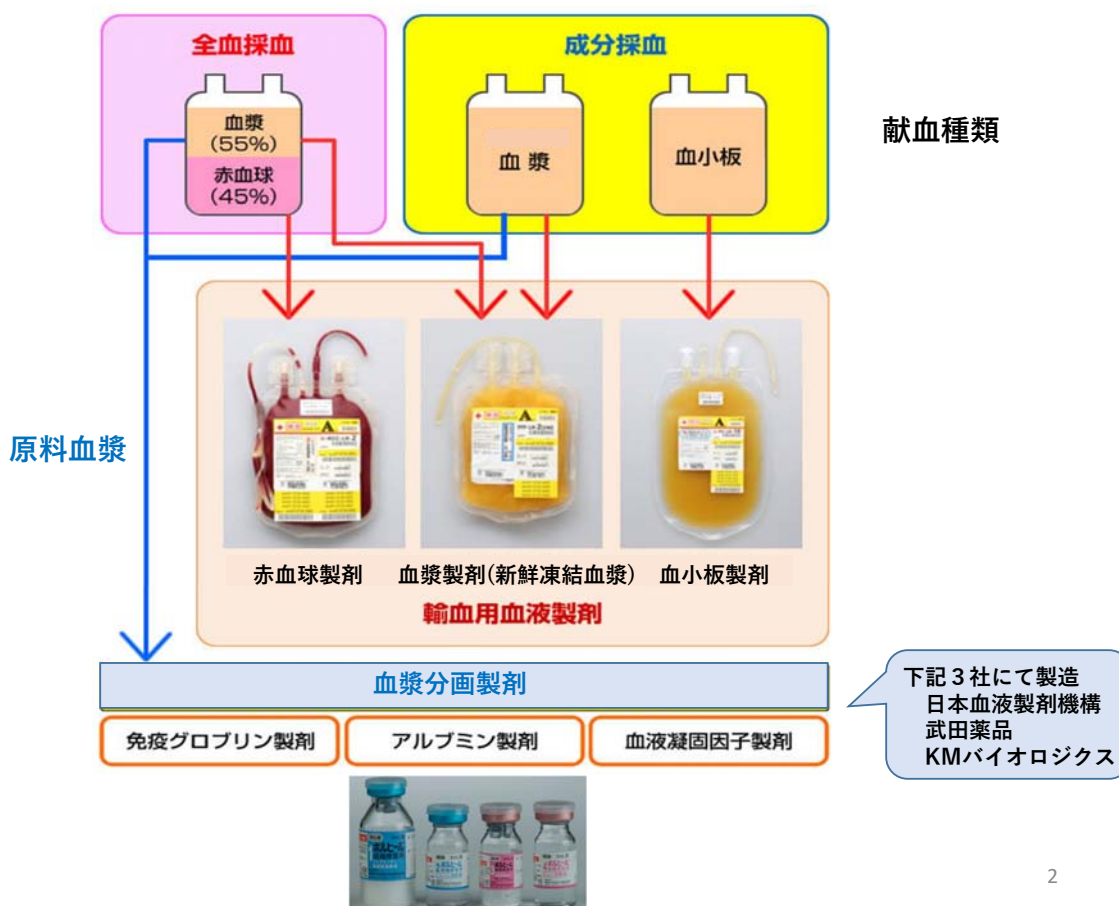
また、近年需要が増大している<u>免疫グロブリン製剤等の血漿分画製剤</u>について、献血から得られた血液を原料とすることや、多くの疾患の治療に欠かすことができないことなどを周知するとともに、安定供給が確保されるよう、成分献血への協力の呼びかけを強化する。	また、近年需要が増大している血漿分画製剤について、献血から得られた血液を原料とすることや、多くの疾患の治療に欠かすことができないことなどを周知するとともに、安定供給が確保されるよう、成分献血への協力の呼びかけを強化する。	厚生労働省作成 「令和7年度の 献血の推進に関 する計画（案）」 に合わせた記載 に変更。
---	---	--

2025年2月

大阪府における血液事業の現況

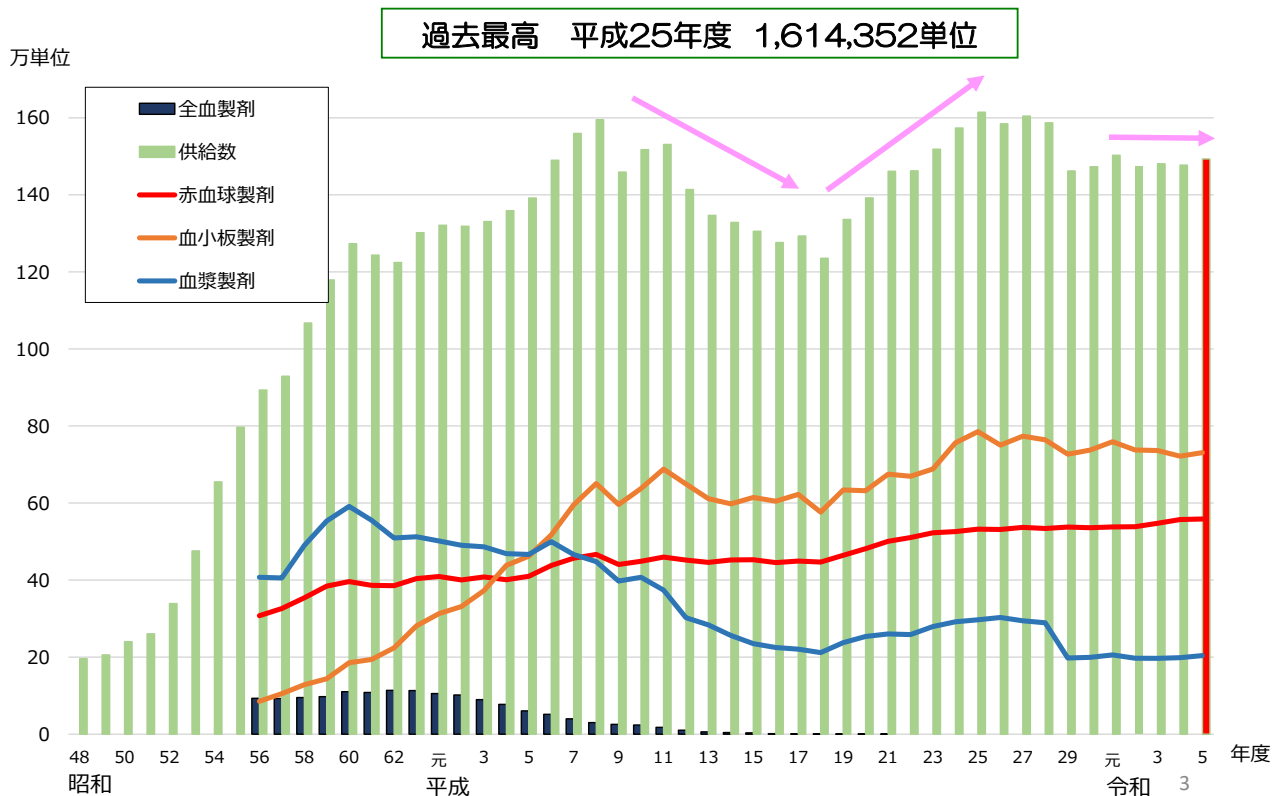
大阪府赤十字血液センター
所長 平山 文也

1



2

輸血用血液製剤供給数推移（大阪府、過去50年）



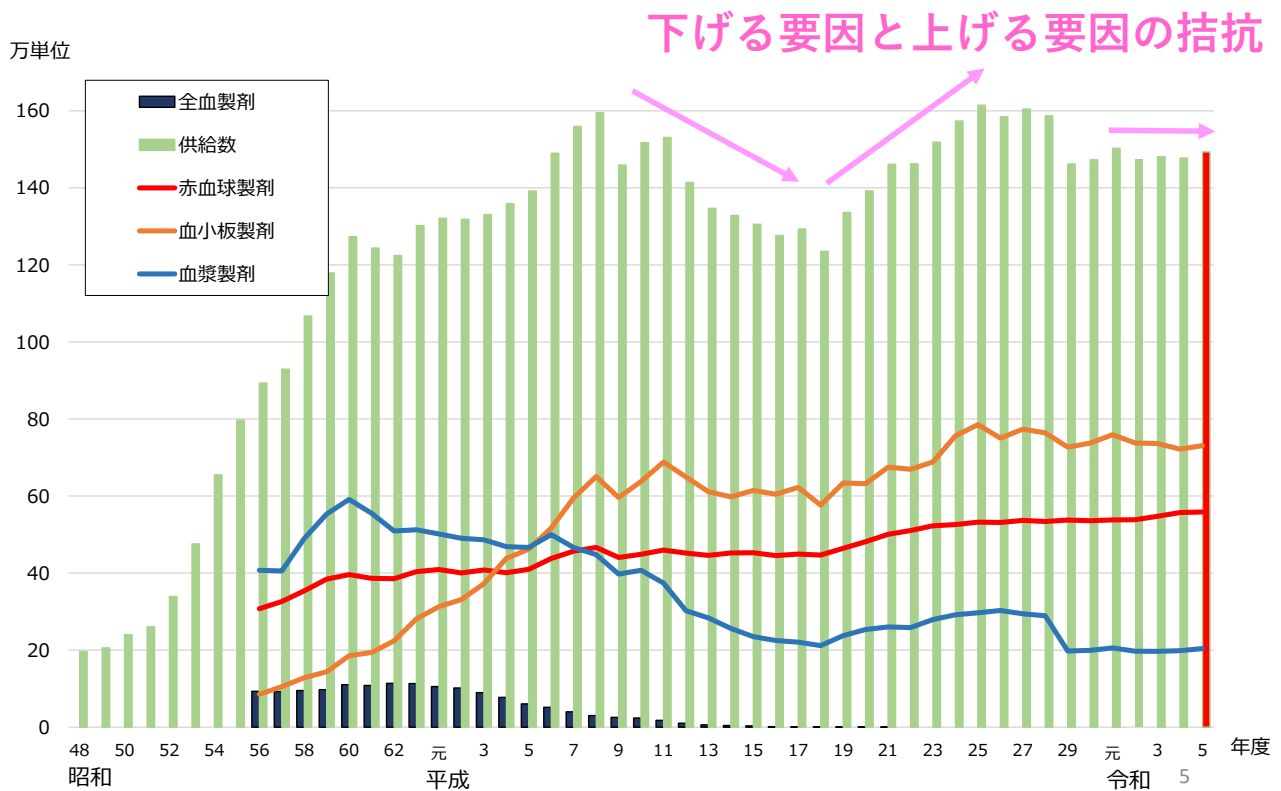
輸血数（量）を押し下げる要因

- ・血液製剤適正使用の浸透
- ・Patient Blood Management の浸透
同種血輸血を可能な限り回避するためのプログラム
例：術前の貧血の改善、術中の自己血回収装置の使用
- ・治療法の改善
- ・術式の改善
- ・手術ロボットの登場による出血量の減少

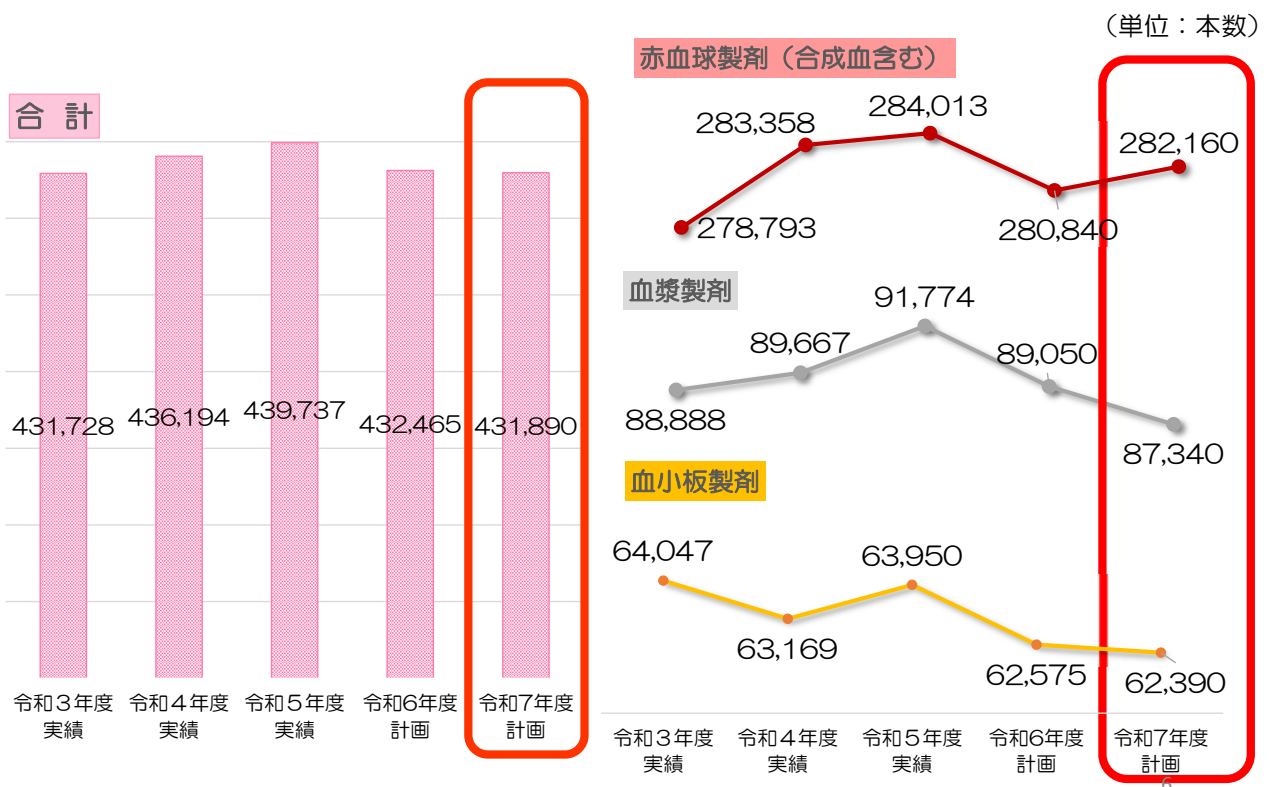
輸血数（量）を押し上げる要因

- ・高齢者人口の増加（有病者の増加）
- ・高齢者の体力増強（80, 90歳でも手術、積極的治療に耐える）

輸血用血液製剤供給数推移（大阪府、過去50年）



輸血用血液製剤供給数推移（大阪府、直近4年）

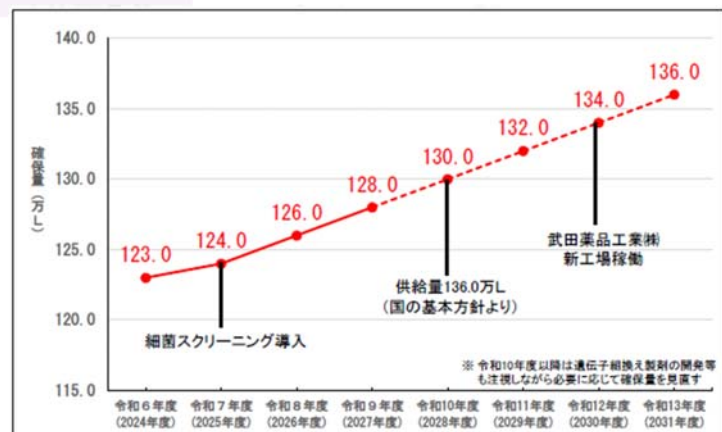


原料血漿送付量の推移



武田製薬プラント
工場の改修工事
(2024.10-2025.3)

グロブリン製剤の
需要の増加

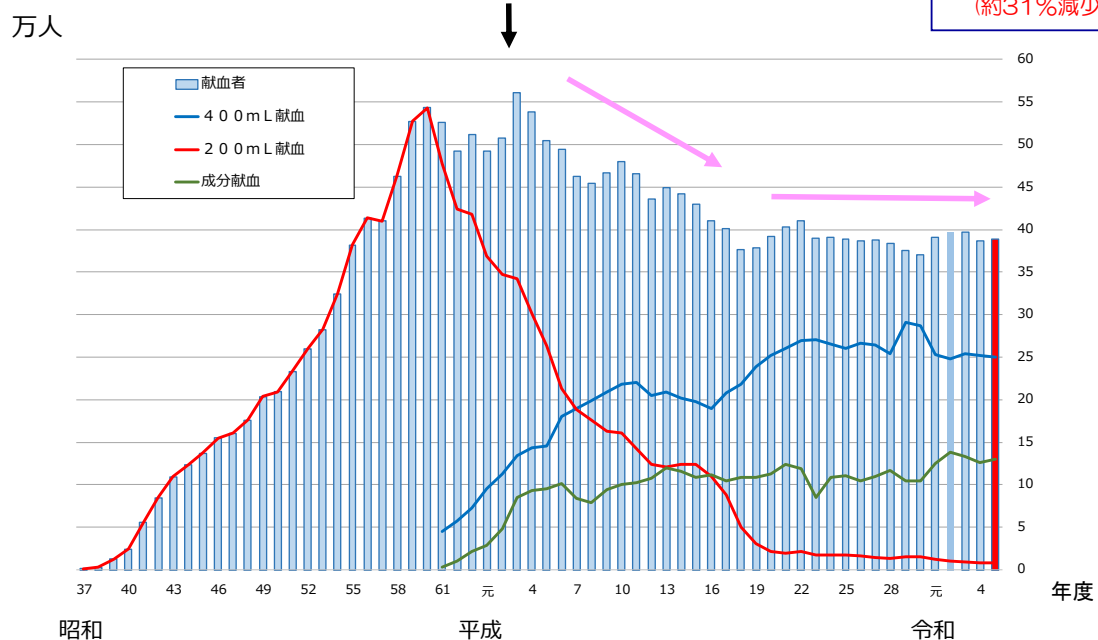


献血者数推移（大阪府、過去60年）

令和5年度 大阪府
献血率 6.7%

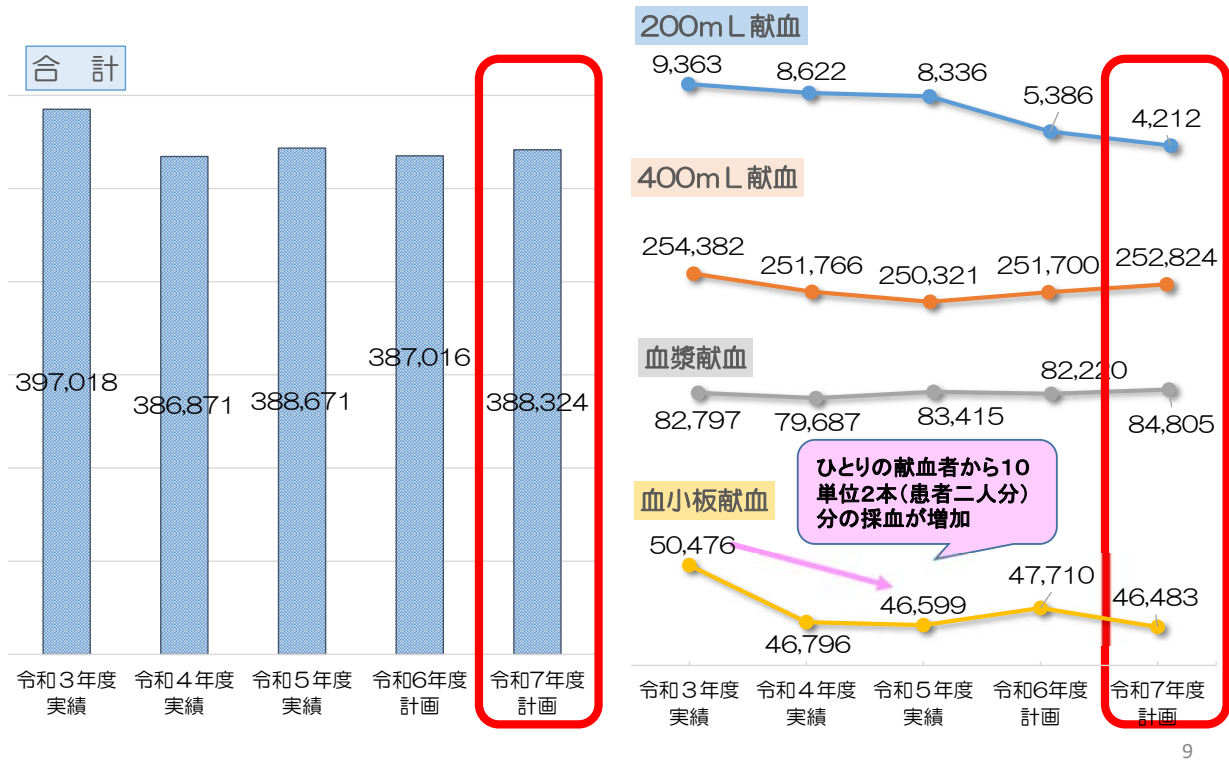
平成3年度 56万580人

令和5年度
38万8,671人
(約31%減少)



献血者数推移（大阪府、直近4年）

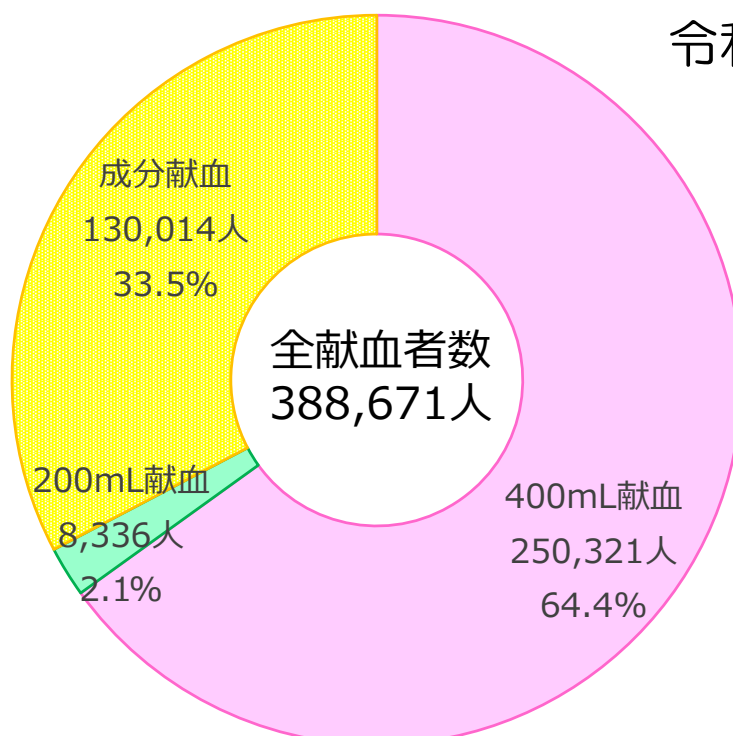
（単位：本）



9

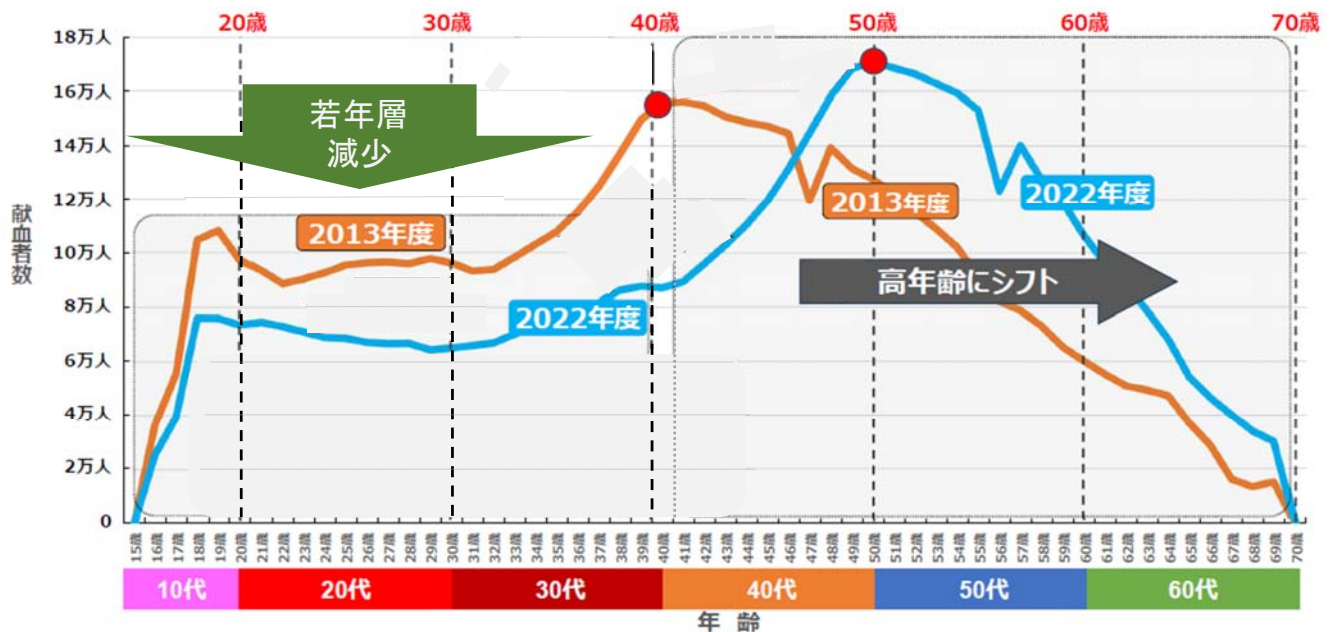
献血方法別献血者数（大阪府）

令和5年度実績

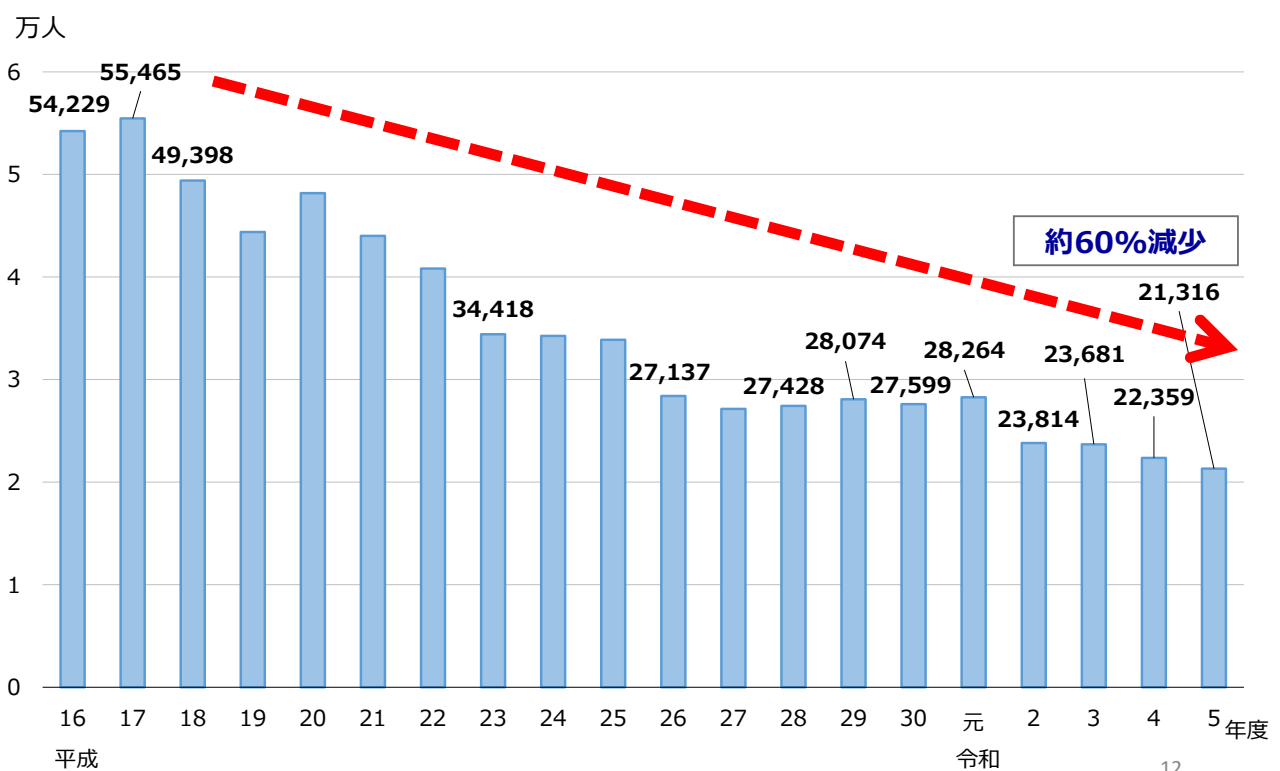


10

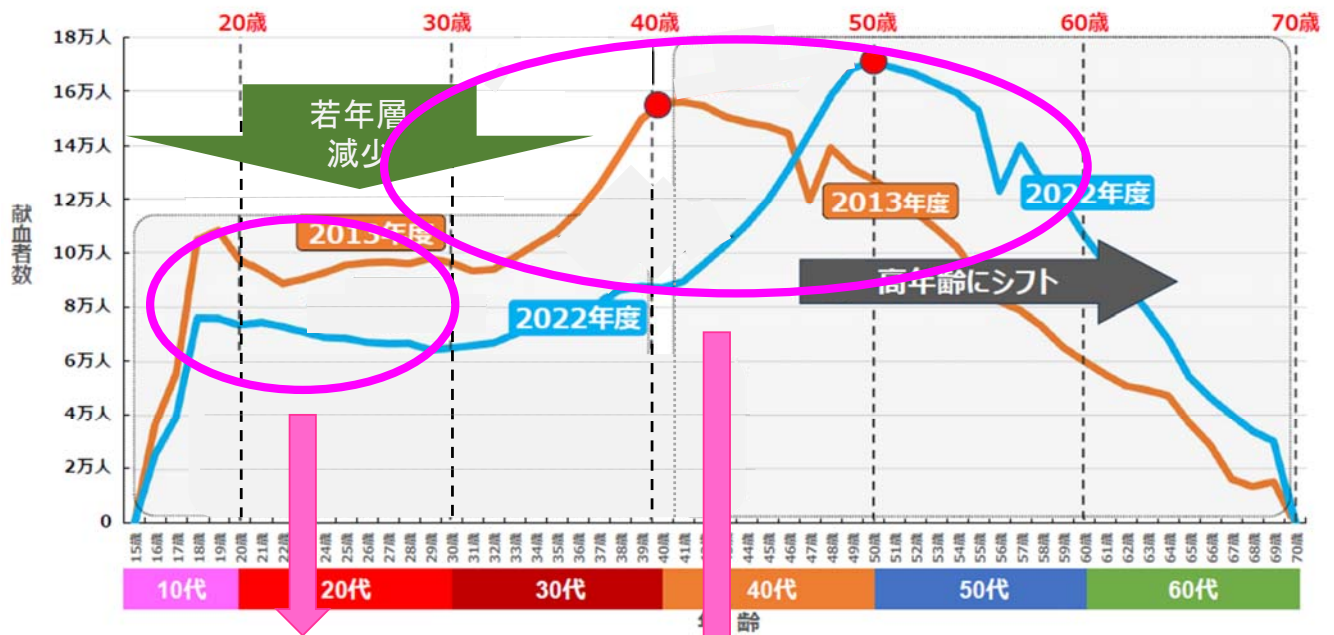
年齢別献血者数の推移（全国）



初回の献血者数（大阪府）



年齢別献血者数の推移（全国）



対策1：若年者への対応

対策2：働き盛り、企業さんへの対応

対策1：若年者への対応

小学生：「献血おもしろゼミナール」



高等学校献血セミナー



2025年1月現在
献血セミナー
47回実施



写真：大阪府立工芸高等学校

中学～大学生：

- ・施設見学会の開催
- ・献血セミナーの実施
- ・学校献血・課外活動の実施



献血セミナー



施設見学



献血啓発活動



ヒップホップグループとの献血コラボ

ヒップホップグループ「梅田サイファー」のメンバーであるKOPERUとteppeいが、

- ・献血活動に参加。
- ・献血に対する思いを込めたオリジナル楽曲「ために」を制作。
- ・御堂筋献血ルームでの FM大阪「愛です！Circle」公開収録にて同楽曲を披露。



若年層献血者：はたちの献血キャンペーン



はたちの献血

赤十字は、動いてる!  日本赤十字社

THINK
献血

19

対策2：働き盛り、特に企業さんへの対応

20



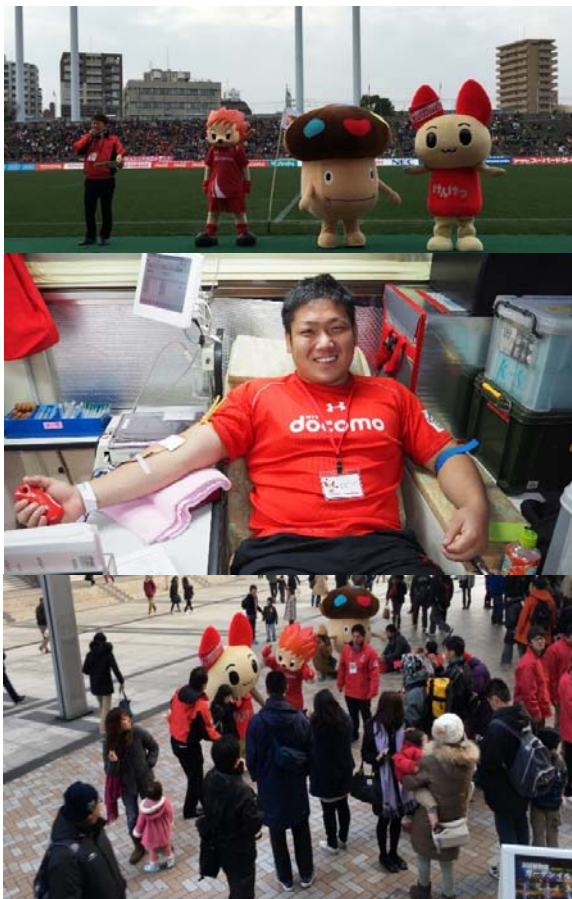
「いのちのパスつなぐ」ポスター

プロラグビーチーム レッドハリケーンズ大阪
プロバスケットボールチーム 大阪エヴェッサ



23

ラグビーチーム レッドハリケーンズ大阪 献血協力



24

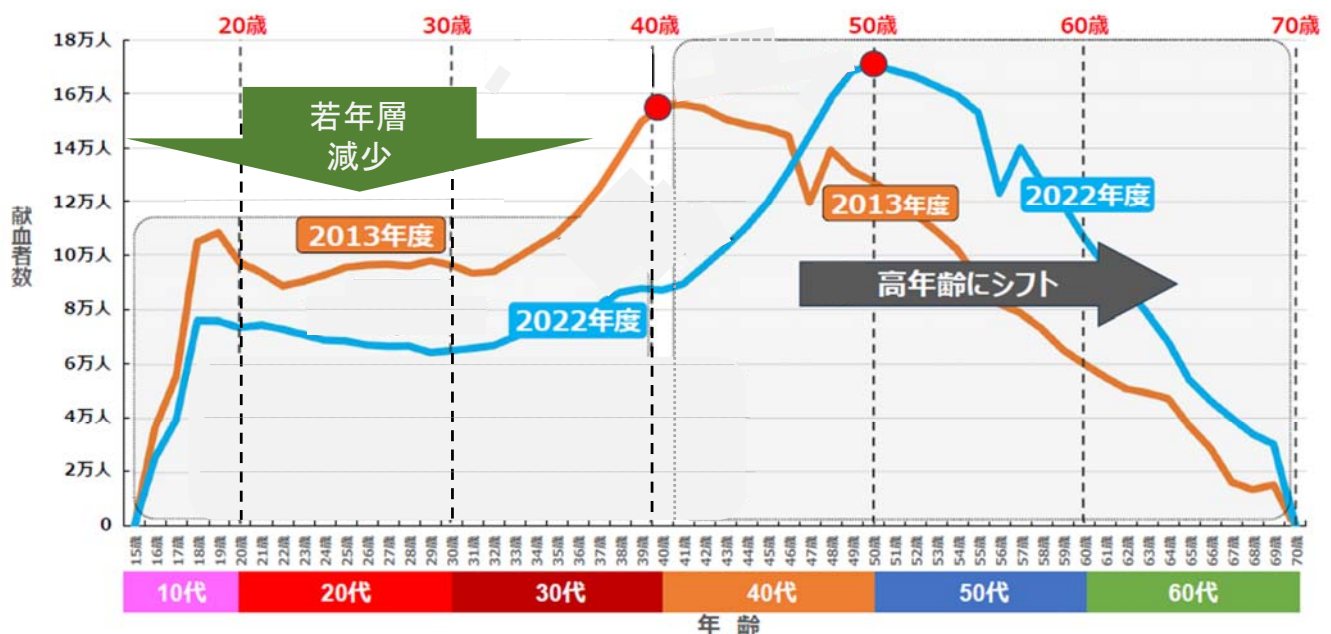
大阪ブルテオンの献血啓発

在阪プロバレーボールクラブ「大阪ブルテオン」が献血活動に参加。
献血啓発ポスターの作製に協力。

11/17(日):大阪市港区のアスエアリーナ大阪で開催されたゲームにて献血バスを配車し、
ファン層への献血参加呼びかけなどを実施。



年齢別献血者数の推移（全国）



対策3：全年代を通しての献血回数が増

対策3：献血回数が増

27

全血
献血

血液の中の全ての成分を
採血する献血
赤血球製剤は、貧血、
外科手術前後などに使用されます
赤血球製剤の有効期間は
採血後21日間

成分
献血

血液の中の血小板や
血漿だけを採血する
重症感染症や血友病など
くすりの原料にもなる
血小板製剤の有効期間は
採血後4日間

献血には2種類の
ご協力方法があります！

ダブル
献血

ご協力いただける年間の献血回数

男性 3回
女性 2回
400mL
献血の場合
採血時間は10～15分程度です

ご協力いただける年間の献血回数

血液と
血小板の
合計で
男性・女性 24回
年間で
採血時間は40～50分程度です

ダブル献血 スケジュール例

男性

全血 400mL

← 12週間以上 →

全血 400mL

男女とも2週間経てば可能！

全血 400mL

← 8週間以上 →

成分

成分

成分

← 8週間以上 →

成分

成分

成分

全血 400mL

例えば 4月 1日 6月 1日 6月 15日 7月 1日 7月 15日 8月 1日 9月 15日 10月 1日 10月 15日 11月 1日

女性

全血 400mL

← 8週間以上 →

成分

成分

成分

← 16週間以上 →

全血 400mL

← 8週間以上 →

成分

成分

成分

全血 400mL

※全血→全血献血
※成分→成分献血

「全血献血・成分献血」
2種類の献血によって
助かるいのちがあります

元気になったよ！

ありがとう！

28

「ラブラッド」で利便性をアップ

ラブラッドとは

ラブラッドは日本赤十字社と献血者をつなぐ、Web会員サービスです。
Webサイト・アプリ、どちらからでも献血の予約、
事前の問診回答などが可能になりました。
献血会場での混雑の回避、滞在時間の短縮、
接触機会の削減ができるので、安心して安全、より手軽に献血協力ができます。



29

献血予約

Webサイト・アプリから献血予約が可能!当日予約(3時間前)※もできるので、お近くの献血会場を選択して、手軽に献血できます。
※献血会場によっては当日予約できない場合があります。



事前問診回答

これまで献血会場でしかできなかった問診回答がWebサイト・アプリからできるようになりました。



血液検査の確認

ご自身の献血記録をいつでも確認することができます。



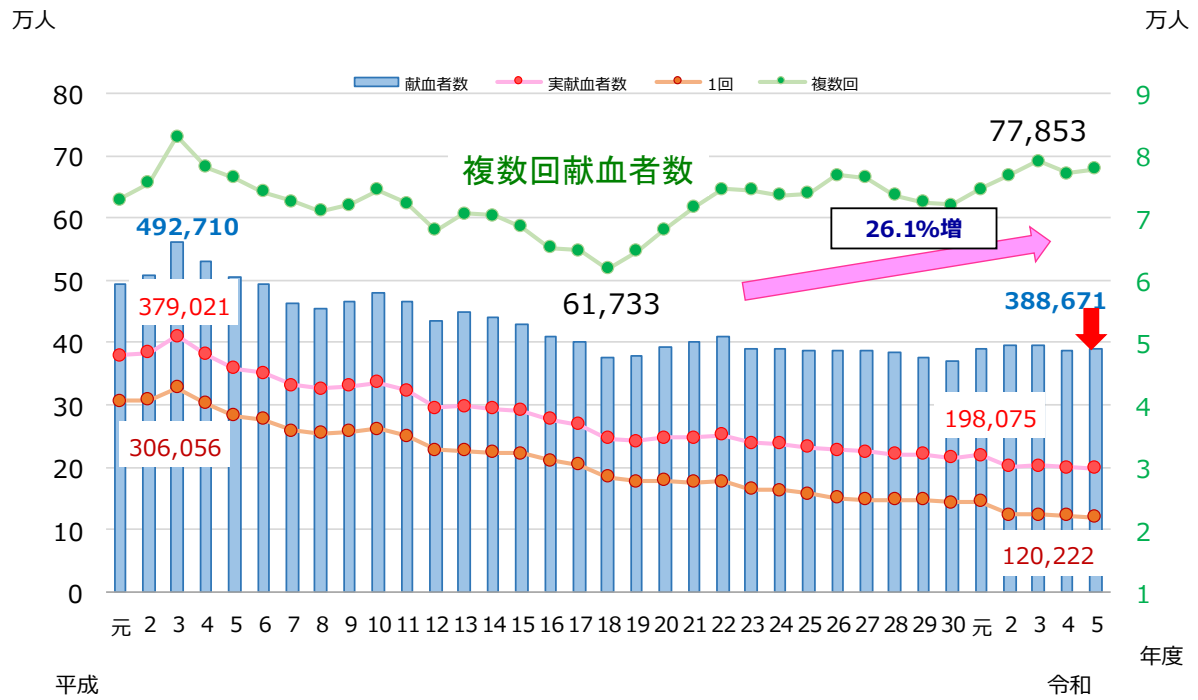
会員特典

ご協力いただいた献血種類に応じて、献血ポイントがたまります。また献血予約することで予約ポイントも付与されます。それらはオリジナル記念品と交換が可能です。その他、イベントやキャンペーン情報のご案内や、便利な機能を多数備えています。



30

複数回献血者 の増加(大阪府)



献血推進に係る大阪府の取組み

令和 5 年度大阪府献血推進計画目標の達成状況について	1
令和 6 年度献血目標（抜粋）	2
令和 6 年度献血推進会議・事業計画	3
献血推進に係る大阪府の取組み	4
各市町村献血推進協議会 広報実施状況	5
各種広報活動	8
デジタルサイネージによる啓発	9
若年層の献血推進	10
令和 6 年度献血啓発作品ポスター原画募集 優秀作品	13
高校生街頭献血キャンペーン	18
献血セミナー	19

令和5年度大阪府献血推進計画目標の達成状況について

1. 献血者数の確保

目標値

①献血者数

	全血献血		成分献血		合計
	200mL	400mL	血漿	血小板	
目標値(人)	10,592	249,651	80,199	46,982	387,424
実績値(人)	8,336	250,321	83,415	46,599	388,671
達成率(%)	78.7	100.3	104.0	99.2	100.3

②献血血液確保量

	全血献血		成分献血		合計
	200mL	400mL	血漿	血小板	
目標値(L)	2,118	99,860	45,071	25,567	172,617
実績値(L)	1,667	100,128	45,761	26,048	173,604
達成率(%)	78.7	100.3	101.5	101.9	100.6

③採血場所別献血者数

	血液センター	献血ルーム	移動採血者 (オープン献血含む)	合計
目標値(人)	21,179	252,374	113,871	387,424
実績値(人)	20,821	254,119	113,731	388,671
達成率(%)	98.3	100.7	99.9	100.3

2. 若年層対策

目標値

①年代別献血者数

	10代	20代	30代	40代以上	合計
目標値(人)	18,651	65,500	66,300	236,973	387,424
実績値(人)	12,727	57,770	55,300	262,874	388,671
達成率(%)	68.2	88.2	83.4	110.9	100.3

②献血セミナー

目標値(回)	35
実績値(回)	63
達成率(%)	180

取組事例

- ・献血セミナー
- ・献血おもしろゼミナール
- ・献血啓発作品ポスター原画募集事業
- ・企業イベントへのブース出展
- ・雑誌、デジタルサイネージ、SNS等各種媒体による広報活動

目標達成状況の概要

- ・令和5年度の大阪府における献血者数は合計388,671人であり、目標値達成率100.3%と、概ね目標は達成したといえる。
- ・血小板に関しては、人数の目標は下回ったものの、一人当たりの献血量が多く、血液確保量の目標は達成できた。
- ・また、10代から30代の若年層献血者数については、依然として目標値と比較すると低い状況であることから、引き続き、若年層対策に積極的に取り組む必要がある。
- ・献血セミナーは大幅に目標値を上回った。

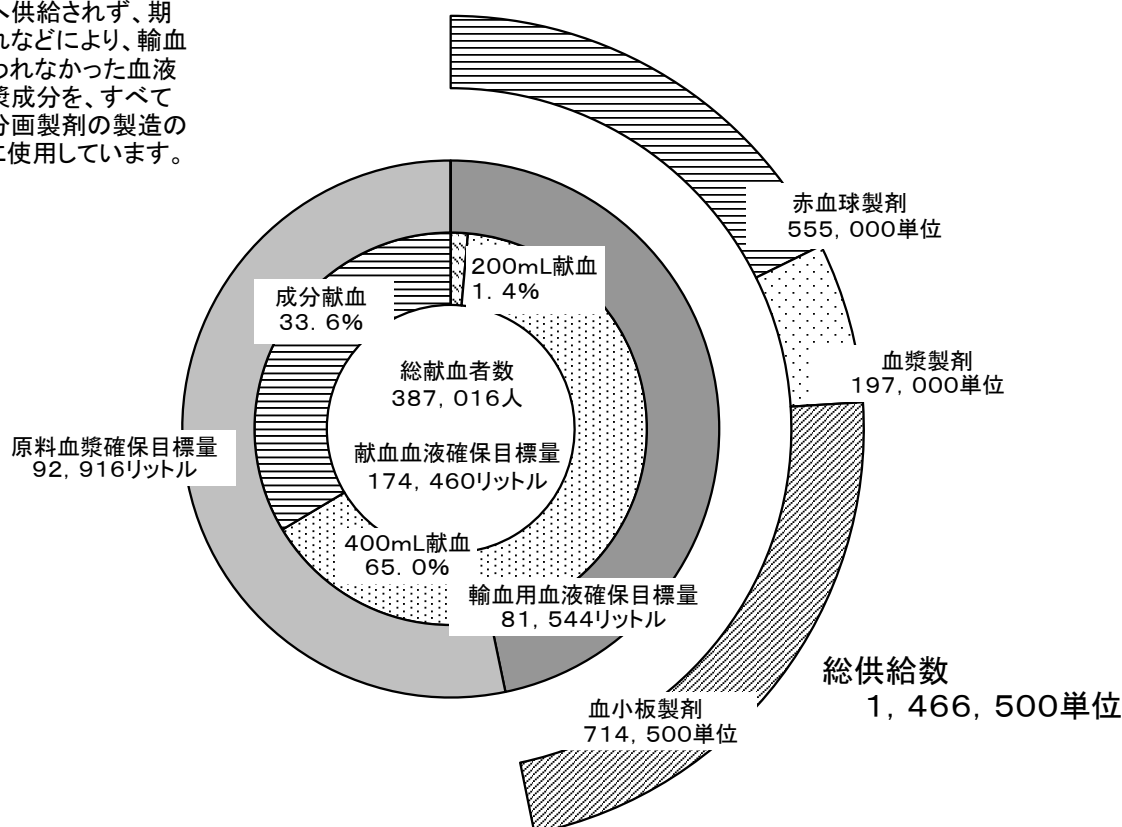
令和6年度 献血目標

献血していただいた血液は、医療機関に送られ、がん、血液や造血器の病気、各種感染症、やけど、交通事故などの患者さんの治療に幅広く使用されます。

・血漿分画製剤に必要な血漿量は、全国で123万リットル(令和6年度)です。

・血液センターでは、医療機関へ供給されず、期限切れなどにより、輸血に使われなかった血液の血漿成分を、すべて血漿分画製剤の製造のために使用しています。

*より一層の安全性向上のため、400mL献血の献血目標割合を、97.9%(全血献血中構成比)としました。



・医療機関では患者さんの病気や症状によりそれぞれ血液製剤が輸血されます。

・1単位は、約200mLの血液から得られる各製剤の量です。

令和6年度献血目標							
		献血者数 (人)	構成比(%)	献血量(L)	採血場所別献血者目標(人)		
					血液センター	献血ルーム	移動採血車 (オープン献血含む)
全血献血	200mL	5,386	1.4%	1,077	169	2,233	2,984
	400mL	251,700	65.0%	100,680	8,671	135,690	107,339
成分献血	血 漿	82,220	33.6%	46,715	5,082	77,138	0
	血小板	47,710		25,988	5,924	41,786	0
合 計		387,016		174,460	19,846	256,847	110,323

令和6年度献血推進会議・事業計画

	事業等 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会議	市町村献血推進事業主 管課及び市町村献血推 進協議会会議			○会議									
	大阪府献血推進審議会	○委員変更確認			○新規委嘱及び解嘱手 続き				○任期満了による 委嘱及び解嘱手続 き			○審議会	○献血推進計画公表
月間・ キャンペーン	愛の血液助け合い運動	○国より実施通知	○広報登録	○実施通知 ○広報用ポスター配布	←○キャンペーン→	○実施結果報告							○資材必要数照会 (次年度分調査)
	大阪府献血推進月間							○実施通知	○報道提供	←○キャンペーン (デジタルサイネージ、イ ベントへの出展)→			
式典	献血運動推進全国大会	○大臣表彰状・感謝状贈 呈者推薦		○大臣表彰状・感謝状贈 呈者決定	○全国大会(岐阜県)	○大臣表彰状・感謝状伝 達式							
	大阪府知事感謝状	○推薦依頼		○決定通知 ○開催通知		○贈呈式							
若 年 層 啓 発	献血作品募集事業	○実施起案 ○チラシ作成準備	○チラシ印刷	○チラシ発送 ○報道提供	←	募集	→		○選考委員会	○報道提供 ○表彰式・展示(庁内)			○啓発資材配布
	高校生街頭キャンペーン								○実施内容、参加 者調整	○キャンペーン実施			
	献血セミナー			○セミナー資料配付 各高校へセミナー実施依頼				適宜実施					→
そ の 他	事業計画等	○実施計画提出(当該年 度)	○献血実績報告(前年度)	○センターより広報物品 (ティッシュ)配布				○献血バス配車希望照 会	○センターより広報物 品(ティッシュ)配布 ○土曜/日曜・祝 日献血バス配車決 定	○広報物品(カレン ダー)配布			○広報物品必要数調査 (次年度分調査)
	市町村献血推進協議会 事業費補助金事務手続き	○実績報告(前年度)	○執行状況検査(前年度) ○額確定通知(前年度)	○内示	○申請受付 ○交付決定	○請求書受付	○交付						
	府庁前献血	○別館前献血				○別館前献血 ○咲州庁舎前献血				○別館前献血	○咲州庁舎前献血		

献血推進に係る大阪府の取組み

1. 会議の開催

- 市町村献血推進担当者会議（令和6年6月20日（木）大阪府赤十字血液センター）
- 大阪府献血推進審議会（令和7年2月19日（水）KKRホテル大阪）

2. 献血推進功労者等の顕彰

- 厚生労働大臣表彰状・感謝状 伝達式（令和6年8月7日（水）KKRホテル大阪）
- 大阪府知事感謝状 贈呈式（令和6年8月7日（水）KKRホテル大阪）
・伝達式と贈呈式は同時開催。

3. 献血推進月間・キャンペーン

- 愛の血液助け合い運動（7月）
- 大阪府献血推進月間（12月）
- はたちの献血キャンペーン（1月～2月）

4. 各種広報活動

- 大阪府健康医療部保健医療室医療対策課HP、
大阪府のfacebook、X（旧Twitter）、メールマガジン等への掲載
- 「府政だより」への掲載
- デジタルサイネージ広告（梅田駅、大阪モノレール各駅）
- 企業が実施するイベントにブースへの出展
- ラジオでの啓発（FM大阪）

5. 若年層の献血推進

- 献血作品募集事業
府内の15～28歳を対象として、献血推進についてのポスター原画を募集。
ポスター原画を用いた啓発資材を作成し、府内高校へ配布する予定。
- 高校生による街頭キャンペーン（12月）

令和6年度 市町村献血推進協議会 街頭広報実施状況(「愛の血液助け合い運動」月間)

市町村名	実施日	実施場所	参加人数	配布物品
1 大阪市	7月中	各区役所、福祉センター 住吉区役所区民情報コーナー	0人(窓口設置のため)	ポケットティッシュ計約2000個 ポスター掲示
2 堺市	7月10日 12時00分～12時30分 7月10日 13時00分～13時30分	堺東駅前【中止】 ・当日の熱中症暑さ指数(WBGT)基準域が厳重警戒度であり、 参加者の熱中症の危険が高かったため中止。 ①中区役所周辺 ②深井駅周辺	17人	ウェットティッシュ360個
3 岸和田市	7月17日 10時～11時 7月4日, 5日, 11日, 12日 (計4日間、1日2回)	南海岸和田駅前 JR東岸和田駅	7人 2人	ポケットティッシュ500個 キャンペーンチラシ
4 豊中市	7月27日 10時～11時	阪急曽根駅前	17人	ポケットティッシュ600個配布 献血協力者にはクリアファイルと ボールペンを進呈
5 池田市	7月12日 10時～16時30分	池田市役所	3人	ティッシュ100個、粗品70個、 ハンドタオル70枚
6 吹田市	7月中	各地区掲示板(33地区) 吹田市役所庁内掲示板	0人(掲示のため) 0人(掲示のため)	令和6年度「愛の血液助け合い運動」広報用ポスター1枚 令和6年度「愛の血液助け合い運動」広報用ポスター1枚
7 泉大津市	7月1日 10時～11時	泉大津駅周辺	27人	ティッシュ1500個
8 高槻市	7月4日 10時～16時30分	エミル高槻	24人	広報ティッシュ約3000個、 ボールペン41本 バックインバック41個
9 貝塚市	実施なし			
10 守口市	7月4日 14時～14時30分	守口市役所及び周辺	39人	クリップハンディファン200個 ひんやりタオル200個 ポケットティッシュ200個
11 枚方市	7月2日 10時～10時45分 11時～11時45分	京阪枚方市駅献血ルーム前	31人	ティッシュペーパー2500個
12 茨木市	7月28日 10時～16時	茨木市役所付近	15人	ポケットティッシュ、ボールペン 各約1000個
13 八尾市	7月6日 11時～11時30分	ブリズムホールから近鉄八尾駅周辺	60人	啓発ティッシュ 1500個
14 泉佐野市	7月3日 18時～19時	南海電鉄泉佐野駅周辺	12人	ウェットティッシュ 1000個
15 富田林市	7月7日 10時～16時	エコール・ロゼ 南駐車場時計広場専門店 入口前	35人	啓発用ティッシュ2000個配布 採血者66名の粗品として、 冷やし中華orゼリー66個提供 不採血者11名の粗品として、 BOX ティッシュ1箱、11個提供
16 寝屋川市	実施なし			
17 河内長野市	7月9日 10時～16時30分	河内長野市役所	55人	ポケットティッシュ 150個
18 松原市	6月24日 10時～16時	松原市役所	30人	献血チラシ入りティッシュ150個
19 大東市	7月5日 10時～10時30分	ポップタウン住道 スペイン広場	17人	ポケットティッシュ250個
20 和泉市	実施なし			
21 箕面市	7月20日 10時～16時30分	阪急箕面駅前 みのおサンプラザ周辺	28人	ポケットティッシュ約1000個
22 柏原市	7月5日 17時～18時	JR柏原駅周辺・近鉄河内国分駅周辺	22人	ひんやりマフラータオル720枚 ポケットティッシュ2000個
23 羽曳野市	7月23日 8時30分～16時30分	羽曳野市役所	5人	うちわ50個 ポケットティッシュ200個 絆創膏200個
24 門真市	7月19日 10時～10時30分	京阪古川橋駅前広場	34人	ポケットティッシュ300個
25 摂津市	7月中	摂津市社会福祉協議会窓口	5人	ティッシュ1500個
26 高石市	実施なし			
27 藤井寺市	7月30日 11時～14時	イオン藤井寺ショッピングセンター	15人	ポケットティッシュ1000個
28 東大阪市	7月19日 10時～16時30分 7月30日 10時～16時30分 7月中	東大阪市役所総合庁舎 イオン鴻池店 東大阪市保健所	各1人	ポケットティッシュ各300個 タンブラー各50個 横断幕の掲示

29	泉南市	7月5日 14時～16時30分 7月20日～21日 10時～16時30分	㈱高田ベッド製作所 イオンモールりんくう泉南 イオンホール	1人 2人	サランラップ40個 サランラップ及び食器用洗剤 計150個
30	四條畷市	6月30日 10時～16時30分	四條畷イオンモール そらのステージ	4人	啓発ティッシュ500個
31	交野市	実施なし			
32	大阪狭山市	7月27日 10時～16時30分	エバーグリーン狭山店	5人	ポケットティッシュ200個
33	阪南市	7月23日 9時30分～11時00分	泉鳥取高校	2人	爽快シート93個、啓発用ポケット ティッシュ500個配布、 大阪府のチラシ20枚配布 ポケットティッシュ1500個
			市内公民館3か所 (尾崎・西鳥取・東鳥取)	2人	啓発用ポケットティッシュ 各500個配架
			阪南市立図書館	2人	啓発用ポケットティッシュ 500個配架
34	島本町	7月12日 18時～18時30分	阪急水無瀬駅前	12人	ポケットティッシュとボールペンの セット300個
35	豊能町	7月1日 13時30分～15時	豊能町立保健福祉センター	1人	啓発用ポケットティッシュ50個程度
36	能勢町	7月22日 9時30分～15時	能勢町役場周辺	10人	ティッシュ
37	忠岡町	実施なし			
38	熊取町	7月1日 17時～18時	JR熊取駅周辺	12人	ポケットティッシュ500個
39	田尻町	7月18日 13時～14時	田尻町総合保健福祉センター 1階エントランスホール	2人	ポケットティッシュ50個
40	岬町	7月1日	岬町立保健センター	20人	ティッシュ
		7月2日	岬町立保健センター ①, ②介護予防教室	30人	
		7月4日	淡輪老人保健センター	35人	
		7月5日	岬町立保健センター 介護予防教室	30人	
		7月9日	岬町立保健センター 介護予防教室	20人	
		7月11日	深日会館	30人	
		7月17日	JA岬 農協婦人部	30人	
		7月22日	岬町立保健センター 介護予防教室	20人	
		7月22日	献血事業(企業)	10人	
		7月24日	出張ほのぼのクラブ	5人	
		7月中	子育て支援センター-窓口	0人(窓口設置のため)	ティッシュ30個
		7月中	保健センター窓口	0人(窓口設置のため)	ティッシュ50個
41	太子町	7月19日 10時～10時30分	カインズ太子店	12人	献血ティッシュ約100個
42	河南町	8月21日 10時～16時	河南町役場庁舎内	4人	ポケットティッシュ300個
43	千早赤阪村	7月10日 10時～16時	村内全域 (行政無線による啓発放送を実施) (広報車による音声案内とチラシにて啓発巡回 を実施) (役場内で呼びかけ)	9人	ポケットティッシュ 200個

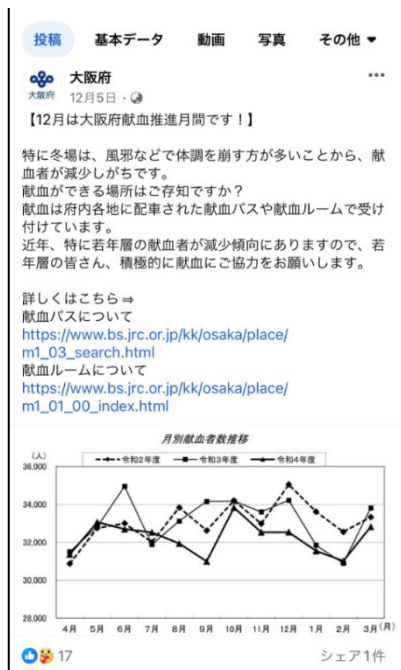
令和6年度 市町村献血推進協議会 機関紙等広報掲載実施状況(「愛の血液助け合い運動」月間)

推進協議会名	機関紙等名称	発行者名	掲載日	機関紙等名称	発行者名	掲載日
1 大阪市	広報あべの6月号	大阪市阿倍野区役所	6月1日			
2 堺市	広報さかい	堺市	7月1日	堺市公式X(旧Twitter)	堺市	7月10日
	堺区広報紙 広報堺	堺市堺区	7月1日	堺区公式X(旧Twitter)	堺市堺区	7月9日
	中区広報紙 広報みどり	堺市中区	7月1日	中区長X(旧Twitter)	堺市中区	4月9日
	中区ホームページ	堺市中区	7月9日 7月10日			
3 岸和田市	岸和田社協だより第187号 JR東岸和田駅構内ポスター(B2ポスター2枚)	岸和田市社会福祉協議会 株式会社 JR西日本コミュニケーションズ	7月1日 7/9~7/22	広報きしわだ7月号	岸和田市広報広聴課	7月1日
4 豊中市	広報とよなか7月号	豊中市	7月1日			
5 池田市	広報いけだ	池田市	7月1日	ホームページ	池田市社会福祉協議会	6月17日
	Facebook	池田市社会福祉協議会	6月17日			
6 吹田市	市報すいた(令和6年7月号)	吹田市	7月1日			
7 泉大津市	掲載なし					
8 高槻市	社協ホームページ	高槻市社会福祉協議会	随時更新	広報たかつき「TAKATSUKIDAYS」	高槻市広報室	7月1日号
	社協LINE	高槻市社会福祉協議会	月末に翌月分を更新			
9 貝塚市	社協かいづか	貝塚市社会福祉協議会	7月5日			
10 守口市	広報もりぐち7月号	守口市企画財政部 魅力創造発信課	7月1日	守口市ホームページ	守口市	7月1日~8月15日
11 枚方市	枚方市社会福祉協議会ホームページ	枚方市社会福祉協議会	6月26日			
12 茨木市	広報いばらき 7月号	茨木市	7月1日			
13 八尾市	やお市政だより(令和6年(2024年)7月号)	八尾市	6月20日	八尾市献血推進協議会ホームページ	八尾市献血推進協議会	7月1日
	八尾市立社会福祉会館玄関でのディスプレイ配架	八尾市社会福祉協議会	7月1日~	八尾市立社会福祉会館掲示板上にポスター掲出	八尾市社会福祉協議会	7月1日~7月30日
14 泉佐野市	市報いずみさの	泉佐野市	7月号・8月号			
15 富田林市	社協とんだばやし	富田林市社会福祉協議会	7月掲載	広報とんだばやし	富田林市	7月掲載
	ホームページ		7月1日更新	とんだばやしメール		7月1日配信
				富田林市役所LINE		7月2日配信
16 寝屋川市	社会福祉協議会だより 機関紙「虹」第167号	寝屋川市社会福祉協議会	5月1日	啓発ポスターの掲示	寝屋川市社会福祉協議会	7月22日~7月31日
	本会ホームページ	寝屋川市社会福祉協議会	7月中	本会SNS Instagram・Facebook	寝屋川市社会福祉協議会	7月5日~
17 河内長野市	広報 かわちながの	河内長野市	7月	ホームページ・エッグス・ブログ	河内長野市社会福祉協議会	7月
18 松原市	広報まつばら	松原市	6月1日			
19 大東市	広報だいとう	大東市	7月1日			
20 和泉市	広報いずみ令和6年7月号	和泉市	7月	和泉市庁舎内デジタルサイネージ	和泉市	7月
	和泉市小学校での掲示		7月			
21 箕面市	箕面市広報紙「もみじだより」7月号	箕面市	7月1日			
22 柏原市	広報かしわら	柏原市	7月号			
23 羽曳野市	広報はびきの7月号	羽曳野市	7月1日			
24 門真市	広報かどま7月号	門真市	7月1日			
25 摂津市	せつつ社協ニュース	摂津市社会福祉協議会	6月15日			
26 高石市	たかいし広報「きらり」	高石市	7月号			
27 藤井寺市	広報ふじいでら	藤井寺市	7月号			
28 東大阪市	東大阪市政だより	東大阪市	7月1日	東大阪市電子行政ネットワーク(職員用LANシステム)	東大阪市	7月中
	大阪バス車内広告	東大阪市	7月中			
29 泉南市	泉南市ホームページ	泉南市	7月1日	泉南市広報誌	泉南市	7月1日
30 四條畷市	広報 四條畷LIFE	四條畷市	4月15日	しじょうなわてし社協だより第104号、第105号	四條畷市社会福祉協議会	4月15日 9月15日
31 交野市	広報かたの(2024年7月号)	交野市	7月1日			
32 大阪狭山市	掲載なし					
33 阪南市	阪南市の広報「はんなん」	阪南市健康増進課	令和6年7月号	阪南市ホームページ	阪南市健康増進課	7月中
	阪南市フェイスブック	阪南市健康増進課	7月中	阪南市ツイッター	阪南市健康増進課	7月中
	阪南市職員内掲示版	阪南市健康増進課	7月中	愛の血液助け合い運動ポスター掲示	厚生労働省作成分	7月中
34 島本町	広報しまもと7月号	島本町	7月1日			
35 豊能町	広報紙「こんにちほ!とよの社協です。」203号	豊能町社会福祉協議会	7月1日			
36 能勢町	掲載なし					
37 忠岡町	掲載なし					
38 熊取町	広報くまとり7月号	熊取町	7月1日	熊取町ホームページ	熊取町	7月1日
	熊取町公式LINE	熊取町	7月1日			
39 田尻町	田尻町総合保健センター1階掲示板上にポスター掲示		7月中			
40 岬町	掲載なし					
41 太子町	広報たいし	太子町役場	9月			
42 河南町	広報かなん 2024年08月号	河南町	8月1日			
43 千早赤阪村	村広報「ちはやあかさか」	千早赤阪村	7月1日			

各種広報活動

大阪府 facebook や大阪府公式 X（旧 Twitter）、大阪府が発信するメールマガジンやセミナーを利用した献血情報の周知・啓発を実施。

大阪府 facebook



大阪府公式 X

もずやん@大阪府広報担当副知事 @osakaprefPR

＼府内高校生と僕で献血呼びかけ！
府では、献血者が減少し、確保できる血液が不足する12月を「大阪府献血推進月間」と定め、府民の皆さんに献血への一層の理解と協力を求めるために取り組んで！
僕も街頭キャンペーンに参加予定！是非献血にご協力をお願いします、やで♪
[pref.osaka.lg.jp/o100030/yakumu...](https://www.pref.osaka.lg.jp/o100030/yakumu...)

12月は大阪府献血推進月間です！

献血にご協力をお願いします

冬は献血者が減少しがちです

「～献血がつなぐ 命と優しさを～」

献血は16歳からできます。

Webやスマホから献血予約や血液検査の確認ができます！

お近くの献血ルーム等は大阪府赤十字血液センターのホームページをご覧ください。

ALT

FM大阪での啓発



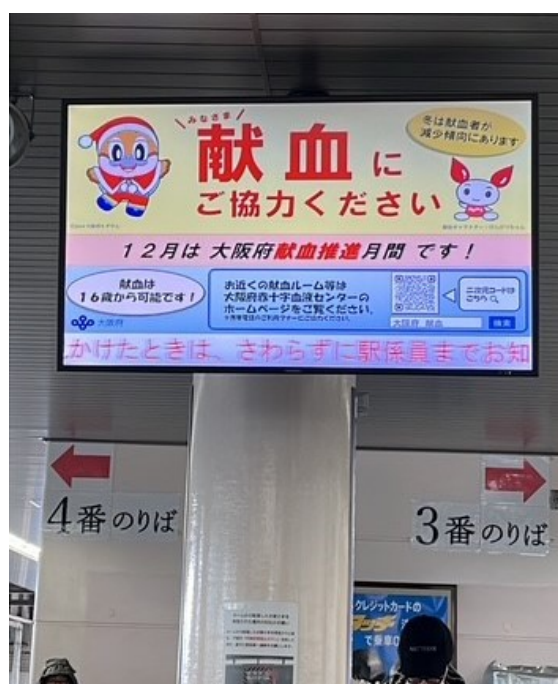
デジタルサイネージによる啓発

大阪府献血推進月間（12月）では、阪神大阪梅田駅のほか、大阪モノレール各駅、本府と包括連携協定を締結する中西金属工業のご協力のもと、各社所有のデジタルサイネージにて献血啓発を実施。

阪神大阪梅田駅



大阪モノレール



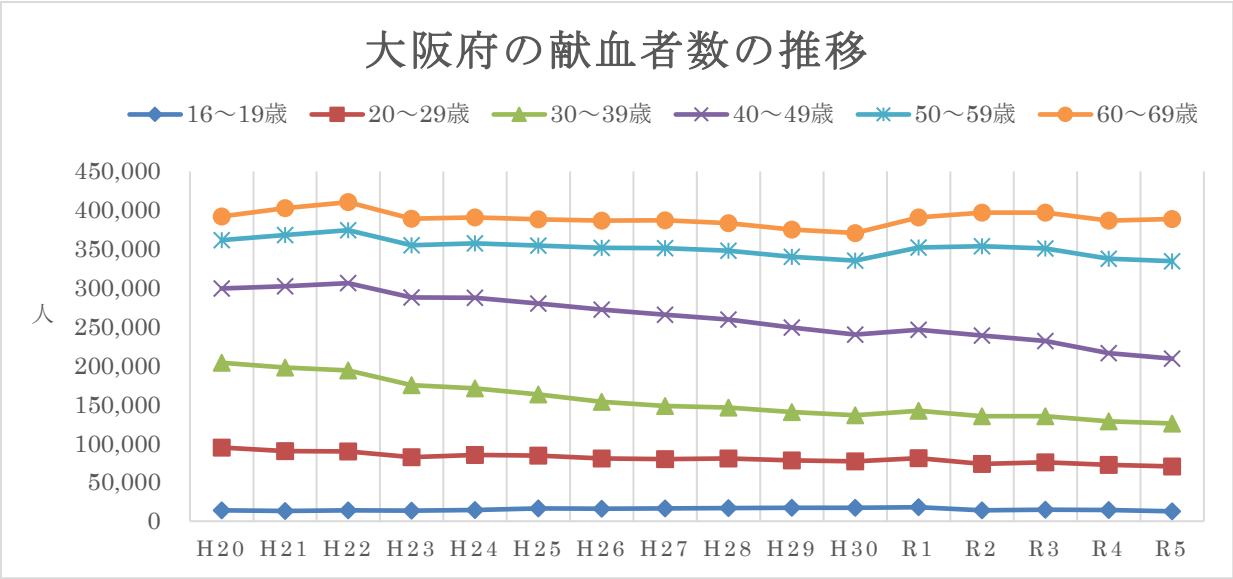
若年層の献血推進

(現状)

令和5年度、若年層である10代から30代の献血者数は、全国で約162万人であり、平成20年度の約285万人から大きく減少している。大阪府内においても同様の傾向となっており、令和5年度は約12.6万人となり、平成20年度の約20万人の63%となっている。

厚生労働省は、平成29年度より、総献血者数に占める年代別の構成比率をなるべく均一にし、将来にわたり安定的に献血者を確保するため、都道府県毎に、年代別の献血者数の目標を設定する通知を発出している（別紙のとおり）。

将来の献血基盤の確保という観点からは、若年層の献血推進が非常に重要であることから、大阪府では、安定した献血者を確保するために、若年層向けの啓発が重要と考えている。



年代別の献血者数について

若年層の年代別献血者数（括弧内は4～12月の9か月間）

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	年間目標
	献血者数	献血率	献血者数	献血率	献血者数	献血者数
16～19 歳	14, 238 (11, 141)	4. 5%	12, 727 (9, 831)	4. 1%	— (9, 044)	19, 599
20～29 歳	58, 315 (44, 754)	6. 0%	57, 770 (43, 522)	5. 8%	— (42, 382)	65, 500
30～39 歳	55, 957 (42, 005)	5. 6%	55, 300 (40, 999)	5. 6%	— (40, 820)	66, 300

事 務 連 絡
令和 6 年 3 月 29 日

各都道府県薬務主管課 御中

厚生労働省医薬局血液対策課

令和 6 年度の目標献血者数（都道府県・年代別）について

血液事業の推進につきましては、日頃より格別の御配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

「令和 6 年度に献血により受け入れる血液の目標量について（依頼）」
（令和 5 年 11 月 1 日付け事務連絡）により、都道府県赤十字血液センターと協議していただいた翌年度の目標献血者数（都道府県・年代別）につきまして、別添のとおり取りまとめ版を送付いたします。

目標献血者数の達成に向けて、特に若年層を対象とした献血の普及啓発に御協力のほどよろしく願いいたします。

【連絡先】

厚生労働省医薬局

血液対策課献血推進係

電話: 03-5253-1111 (内線 2908)

03-3595-2395 (直通)

令和6年度の目標献血者数(都道府県・年代別)

年代	10代		20代		30代		40代		50代		60代		総献血者数	10～30代構成比
	16歳～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳			
	目標数	構成比	目標数	構成比	目標数	構成比	目標数	構成比	目標数	構成比	目標数	構成比		
都道府県														
北海道	12,700	5.1%	37,400	15.1%	40,000	16.2%	61,050	24.7%	65,000	26.3%	31,300	12.6%	247,450	36.4%
北海道ブロック	12,700	5.1%	37,400	15.1%	40,000	16.2%	61,050	24.7%	65,000	26.3%	31,300	12.6%	247,450	36.4%
青森県	2,281	5.1%	7,499	16.9%	8,587	19.3%	11,875	26.7%	9,819	22.1%	4,438	10.0%	44,499	41.3%
岩手県	2,271	5.4%	7,497	17.7%	8,544	20.2%	11,529	27.3%	8,108	19.2%	4,357	10.3%	42,306	43.3%
宮城県	4,505	5.1%	17,680	20.1%	19,048	21.6%	24,063	27.3%	15,980	18.2%	6,731	7.6%	88,007	46.9%
秋田県	1,636	4.6%	5,110	14.5%	6,157	17.5%	8,828	25.0%	9,097	25.8%	4,439	12.6%	35,267	36.6%
山形県	2,044	5.3%	6,614	17.0%	7,551	19.4%	9,940	25.6%	8,743	22.5%	3,955	10.2%	38,847	41.7%
福島県	3,681	5.2%	12,582	17.6%	14,002	19.6%	17,615	24.7%	15,500	21.7%	7,945	11.1%	71,325	42.4%
東北ブロック	16,418	5.1%	56,982	17.8%	63,889	19.9%	83,850	26.2%	67,247	21.0%	31,865	10.0%	320,251	42.9%
茨城県	6,620	6.4%	14,515	14.0%	17,550	16.9%	26,254	25.4%	26,674	25.8%	11,949	11.5%	103,562	37.4%
栃木県	8,775	9.9%	13,265	14.9%	15,440	17.3%	22,931	25.8%	20,594	23.1%	8,031	9.0%	89,036	42.1%
群馬県	6,060	6.9%	12,600	14.3%	16,170	18.3%	22,794	25.9%	22,253	25.2%	8,294	9.4%	88,171	39.5%
埼玉県	12,851	5.3%	34,899	14.4%	40,730	16.8%	64,720	26.6%	64,976	26.7%	24,868	10.2%	243,044	36.4%
千葉県	11,543	5.0%	37,786	16.5%	40,480	17.6%	58,454	25.4%	58,567	25.5%	22,872	10.0%	229,702	39.1%
東京都	27,165	4.6%	123,220	20.7%	118,380	19.9%	142,055	23.8%	138,767	23.3%	46,152	7.7%	595,739	45.1%
神奈川県	14,265	4.3%	49,480	14.9%	54,450	16.4%	85,282	25.7%	95,503	28.7%	33,462	10.1%	332,442	35.6%
新潟県	4,769	5.3%	15,980	17.7%	17,270	19.2%	23,197	25.7%	19,944	22.1%	8,981	10.0%	90,141	42.2%
山梨県	3,198	9.2%	5,386	15.4%	5,710	16.3%	8,045	23.0%	9,047	25.9%	3,549	10.2%	34,935	40.9%
長野県	2,696	3.5%	11,230	14.8%	13,900	18.3%	20,004	26.3%	20,459	26.9%	7,772	10.2%	76,061	36.6%
関東甲信越ブロック	97,942	5.2%	318,361	16.9%	340,080	18.1%	473,736	25.2%	476,784	25.3%	175,930	9.3%	1,882,833	40.2%
富山県	2,001	5.6%	5,379	15.0%	6,262	17.4%	9,204	25.6%	9,473	26.4%	3,581	10.0%	35,900	38.0%
石川県	2,405	5.3%	6,186	13.5%	7,131	15.6%	11,288	24.6%	13,441	29.3%	5,349	11.7%	45,800	34.3%
福井県	1,587	5.9%	3,914	14.4%	4,917	18.2%	6,827	25.2%	6,492	24.0%	3,353	12.4%	27,090	38.5%
岐阜県	3,953	5.9%	9,601	14.4%	11,869	17.8%	16,806	25.3%	16,792	25.2%	7,519	11.3%	66,540	38.2%
静岡県	7,254	5.6%	18,478	14.2%	23,910	18.4%	32,403	24.9%	33,933	26.1%	14,152	10.9%	130,130	38.1%
愛知県	16,198	5.6%	47,718	16.6%	56,528	19.7%	70,977	24.8%	69,150	24.1%	26,159	9.1%	286,730	42.0%
三重県	3,463	5.7%	9,080	14.9%	11,420	18.7%	16,287	26.7%	15,132	24.8%	5,728	9.4%	61,110	39.2%
東海北陸ブロック	36,861	5.6%	100,356	15.4%	122,037	18.7%	163,792	25.1%	164,413	25.2%	65,841	10.1%	653,300	39.7%
滋賀県	2,938	5.6%	7,452	14.1%	9,560	18.1%	13,120	24.8%	13,695	25.9%	6,070	11.5%	52,835	37.8%
京都府	5,607	5.2%	17,500	16.2%	16,100	14.9%	25,280	23.4%	29,608	27.4%	13,963	12.9%	108,058	36.3%
大阪府	19,599	5.1%	65,500	16.9%	66,300	17.1%	87,849	22.7%	105,015	27.1%	42,753	11.0%	387,016	39.1%
兵庫県	12,315	5.9%	33,587	16.2%	37,715	18.2%	51,534	24.8%	49,321	23.8%	23,027	11.1%	207,499	40.3%
奈良県	2,276	4.7%	7,180	14.9%	8,260	17.1%	11,430	23.7%	12,671	26.2%	6,467	13.4%	48,284	36.7%
和歌山県	2,486	6.2%	5,259	13.0%	6,800	16.9%	9,847	24.4%	10,654	26.4%	5,281	13.1%	40,327	36.1%
近畿ブロック	45,221	5.4%	136,478	16.2%	144,735	17.1%	199,060	23.6%	220,964	26.2%	97,561	11.6%	844,019	38.7%
鳥取県	1,009	4.5%	3,550	15.9%	4,850	21.8%	6,189	27.8%	4,668	21.0%	2,013	9.0%	22,279	42.2%
島根県	1,111	5.1%	2,931	13.3%	3,844	17.5%	5,649	25.7%	5,571	25.4%	2,861	13.0%	21,967	35.9%
岡山県	4,093	5.4%	12,032	15.7%	13,908	18.2%	20,802	27.2%	18,071	23.6%	7,578	9.9%	76,484	39.3%
広島県	6,078	5.2%	21,440	18.2%	23,377	19.9%	28,792	24.5%	26,942	22.9%	10,960	9.3%	117,589	43.3%
山口県	2,321	4.8%	5,956	12.3%	7,830	16.2%	12,773	26.5%	13,336	27.6%	6,066	12.6%	48,282	33.4%
徳島県	1,177	4.2%	4,267	15.2%	5,732	20.5%	7,303	26.1%	6,305	22.5%	3,212	11.5%	27,996	39.9%
香川県	1,894	5.2%	5,121	14.1%	7,066	19.4%	9,564	26.3%	8,705	23.9%	4,070	11.2%	36,420	38.7%
愛媛県	2,879	5.5%	9,615	18.5%	11,010	21.2%	13,272	25.6%	10,414	20.1%	4,696	9.1%	51,886	45.3%
高知県	1,280	4.5%	4,522	15.9%	5,452	19.2%	7,553	26.5%	6,534	23.0%	3,120	11.0%	28,461	39.5%
中四国ブロック	21,842	5.1%	69,434	16.1%	83,069	19.3%	111,897	25.9%	100,546	23.3%	44,576	10.3%	431,364	40.4%
福岡県	10,367	4.9%	35,128	16.6%	40,946	19.3%	53,113	25.0%	49,593	23.4%	22,911	10.8%	212,058	40.8%
佐賀県	1,903	5.5%	5,017	14.5%	6,228	18.0%	8,131	23.5%	8,689	25.1%	4,634	13.4%	34,602	38.0%
長崎県	2,592	4.8%	8,376	15.7%	10,907	20.4%	13,762	25.7%	12,239	22.9%	5,590	10.5%	53,466	40.9%
熊本県	3,510	4.7%	10,200	13.6%	13,200	17.6%	17,900	23.9%	19,810	26.5%	10,200	13.6%	74,820	36.0%
大分県	2,221	4.6%	6,489	13.6%	8,951	18.7%	12,589	26.3%	12,077	25.3%	5,502	11.5%	47,829	36.9%
宮崎県	2,340	5.6%	6,010	14.4%	7,500	17.9%	10,970	26.2%	9,434	22.5%	5,600	13.4%	41,854	37.9%
鹿児島県	3,235	5.1%	9,900	15.5%	12,100	19.0%	16,692	26.2%	14,035	22.0%	7,865	12.3%	63,827	39.5%
沖縄県	3,512	6.7%	8,460	16.1%	13,100	24.9%	15,178	28.8%	9,289	17.6%	3,102	5.9%	52,641	47.6%
九州ブロック	29,680	5.1%	89,580	15.4%	112,932	19.4%	148,335	25.5%	135,166	23.3%	65,404	11.3%	581,097	40.0%
合計	260,664	5.3%	808,591	16.3%	906,742	18.3%	1,241,720	25.0%	1,230,120	24.8%	512,477	10.3%	4,960,314	39.8%

「令和6年度 献血啓発作品 ポスター原画」 優秀作品

血液は、医療に必要不可欠なものであるにもかかわらず、科学技術が著しく進歩した現在においても、未だ人工的に造り出すことができません。

この状況を受け、献血者数の減少が著しい10代・20代の若者をターゲットに、府内に居住又は通勤・通学されている15歳から28歳までの方を対象に「献血の重要性」、「輸血によって救われる命の大切さ」を啓発するポスター原画を募集しました。その結果、高校生を中心に134作品もの応募をいただき、厳正な審査を経て、下記のとおり、優秀作品を決定しました。

今後、本作品を使ったポスター等の啓発物品を作成し、様々な献血広報に活用させていただく予定です。

募集期間 令和6年7月1日～令和6年9月30日

主催：大阪府 協力：日本赤十字社大阪府支部 協賛：大阪府赤十字血液センター

最 優 秀 賞



大阪商業大学高等学校
2年生 館 梨央さん

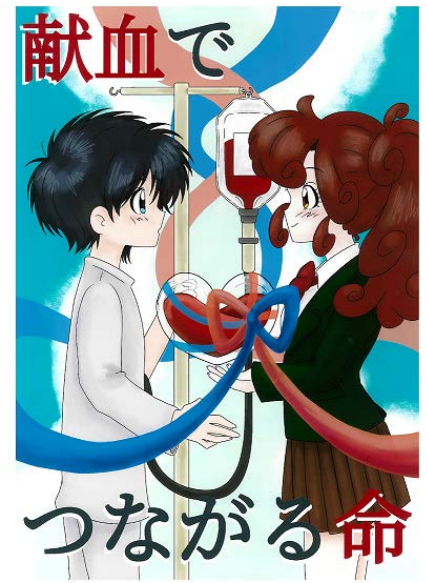
優秀賞 < 5 作品 >



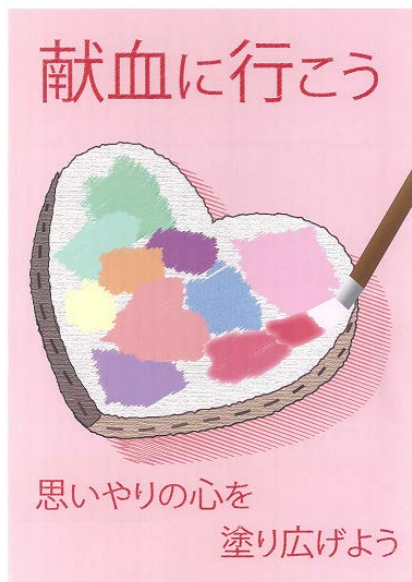
府立工芸高等学校
1年生 磯崎 鈴菜さん



府立吹田東高等学校
1年生 小森 真依さん



府立工芸高等学校
1年生 畠山 えまさん



大阪商業大学高等学校
2年生 松尾 奈穂さん



府立吹田東高等学校
3年生 山口 玲奈さん

入 賞 < 3 作 品 >



府立なにわ高等支援学校
3年生 亀山 一斗さん



大阪商業大学高等学校
2年生 筒井 幸咲さん



ルネサンス大阪高等学校
1年生 豊福 一葉さん

作品展示



令和6年12月2日～12月24日、府庁本館1F正面玄関北側にて入賞作品を展示

「献血啓発作品ポスター原画作品募集事業」表彰式



令和6年12月10日、大阪府庁正庁の間にて表彰式を実施

受賞作品を利用した啓発作品の例（昨年度作成版）

○カレンダー



○しおり



高校生街頭献血キャンペーン

1. 日 時 令和6年12月20日（金曜日） 午後2時30分頃から午後4時30分まで
2. 場 所 阪急グランドビル 24 献血ルーム周辺、西梅田献血ルーム周辺、あべの献血ルーム K i Z o o N a 周辺
3. 参加者 府立港南造形高校 10 名、府立夕陽丘高校 5 名
府立摂つばさ高校 9 名、府立工芸高校 6 名 計 30 名
4. 内 容 街頭献血キャンペーン
(献血協力の呼びかけとティッシュ配布)



阪急グランドビル 24 献血ルーム周辺



西梅田献血ルーム周辺



あべの献血ルーム K i Z o o N a 周辺

献血セミナー

○献血セミナーとは

学校に大阪府赤十字血液センターの職員が訪れ、献血や輸血について分かりやすく説明し意義や理解を深める出前講座。

実施の主体は、大阪府赤十字血液センターであり、実施に向けた周知については、大阪府、大阪府赤十字血液センター等が協力して行う。

○目的

生徒に日本赤十字社の活動を紹介し、健康といのちの大切さを伝える。献血をすることにより輸血を必要とする患者のいのちを救うことに自分たちも参加できるということを生徒たちに気付いてもらう機会とすること。

○献血セミナー内容

1. スライドによる説明

はじめに赤十字の沿革、理念、活動内容・実績を説明。その次に、献血についての説明の中でいのちの大切さを伝える。

2. 映像放映

献血に関する映像と輸血を受けた患者さんに関する映像を鑑賞する。

内容については、打ち合わせや事前の教員の方々への献血セミナーも実施可能であり変更も対応。

また、要望により輸血を受けた患者や、その御家族の感謝の声を伝える講演も行う。

○令和6年度献血セミナー実施回数（12月末現在）

47回

参考）過去献血セミナー実施回数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
高等学校での実施	40	18	20	27	63

若年層の献血推進について今後の方針

次の活動を実施

- (1) 献血啓発作品ポスター原画募集
- (2) 高校生による献血キャンペーン
- (3) 献血セミナーの周知
- (4) 広報誌やSNS、デジタルサイネージ等を活用し、献血の情報を提供
- (5) 構成年齢層として30代が多い小学校PTAや青年会議所などの団体へ献血推進を働きかける。

大阪府学生献血推進協議会 活動報告

大阪府学生献血推進協議会
会長 宮本彩羽



1

大阪府学生献血推進協議会とは

活動目的

若者の献血者数を増やすこと

構成員

大阪産業大学・近畿大学・関西福祉科学大学・大阪経済大学

個人加盟

合計35人(496人)



2

今年度の目標

活動への参加人数を5人以上にする

- ➡ 活動回数の増加
1カ月以上前に日程を決める

SNSのフォロワー増加:X+70人、Instagram+120人

- ➡ 投稿数の増加
フォローキャンペーンの実施

3



今年度の主な活動内容

キャンペーン

- 七夕献血キャンペーン(7/7)
- サマー献血キャンペーン(8/18)
- オータム献血キャンペーン(9/15)
- クリスマス献血キャンペーン(12/21、22)

献血呼びかけ・セミナー

- セレッソ献血(5/11、10/19)
- 献血バス呼びかけ(4/28、6/16、2/9)
- イオンモール鶴見緑地での献血啓発活動(9/23)
- 上宮高校での献血セミナー(11/25)



4



今年度の主な活動

定例会(今年度からzoomとのハイブリッド形式)

新歓(5/24)

上半期:毎月第3金曜日

下半期:毎月第4水曜日

森わく(キャンペーンの準備会)

七夕献血キャンペーンの森わく(6/27、7/5)

サマー献血キャンペーンの森わく(8/9、8/15)

オータム献血キャンペーンの森わく(9/6、9/9)

クリスマス献血キャンペーンの森わく(12/12、16、19)



キャンペーン結果報告



七夕献血キャンペーン

実施場所	みのおキューズモール		
学推参加人数	11人		
	献血受付人数	200ml献血	400ml献血
目標	70人		70人
実績	46人	1人	32人
実施場所	HEP FIVE前		
学推参加人数	28人		
	献血受付人数	200ml献血	400ml献血
実績	48人	1人	36人



7

サマー献血キャンペーン

実施場所	京橋駅前広場		
学推参加人数	10人		
	献血受付人数	200ml献血	400ml献血
目標	80人		80人
実績	72人	3人	56人
実施場所	HEP FIVE前		
学推参加人数	9人		
	献血受付人数	200ml献血	400ml献血
目標	50人		50人
実績	55人	1人	38人



8

オータム献血キャンペーン

実施場所	京橋駅前広場		
学推参加人数	4人		
	献血受付人数	200ml献血	400ml献血
目標	80人		80人
実績	59人		48人
実施場所	HEP FIVE前		
学推参加人数	7人		
	献血受付人数	200ml献血	400ml献血
目標	50人		50人
実績	50人	1人	40人

9



クリスマス献血キャンペーン 1日目

実施場所	京橋駅前広場		
学推参加人数	4人		
	献血受付人数	200ml献血	400ml献血
目標	80人		70人
実績	70人	1人	62人
実施場所	HEP FIVE前		
学推参加人数	7人		
	献血受付人数	200ml献血	400ml献血
目標	50人		40人
実績	56人		42人

10



クリスマス献血キャンペーン 2日目

実施場所	京橋駅前広場		
学推参加人数	6人		
	献血受付人数	200ml献血	400ml献血
目標	80人		70人
実績	77人	2人	60人
実施場所	イオンモール鶴見緑地		
学推参加人数	3人		
	献血受付人数	200ml献血	400ml献血
目標	70人		60人
実績	63人		54人



11

活動人数の目標達成率

活動への参加人数が5人以上になった割合

53% (昨年度47%)

課題

- 各大学との連携がうまくいかない
- サークル<バイトの方が多い
- 加入から時間がたつにつれ熱が冷めていく

12



課題解決のために

各大学との連携がうまくいかない

加盟メンバー全員のグループLINE作成、帰属意識の向上

サークル<バイトの方が多い

加入から時間がたつにつれ熱が冷めていく

交流会などの楽しめるイベントの増加

13

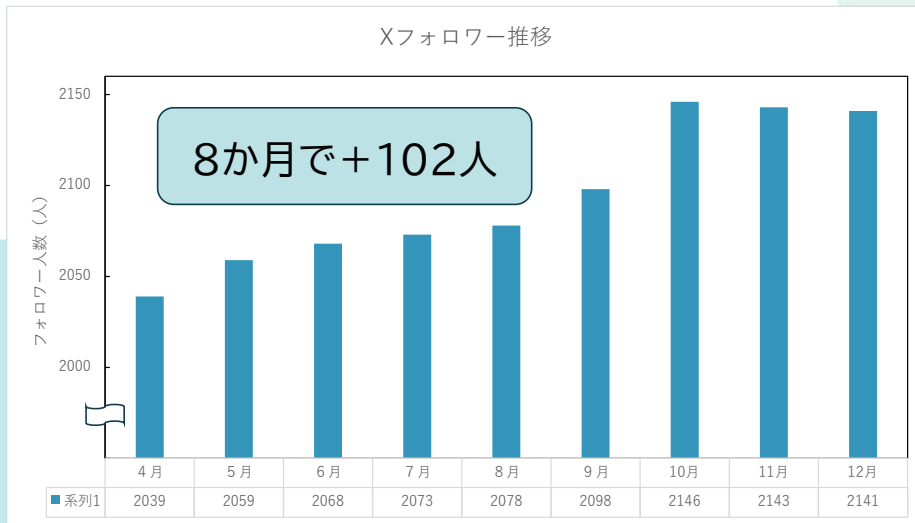


SNS運営



14

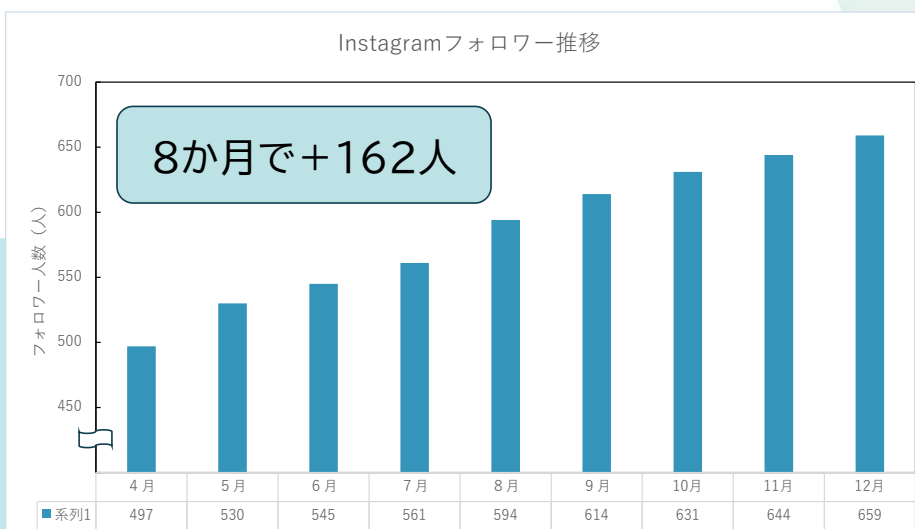
Xフォロワー推移



15



Instagramフォロワー推移



16



投稿内容

定期的

- ・ 毎週土日の献血バス投稿
- ・ **毎週の学内献血投稿**
- ・ 月始め献血ルームイベントカレンダー
- ・ 月末活動報告
- ・ 定例会の活動報告

} 毎週

} 毎月

イベント毎

- ・ 森わく・キャンペーンなどの活動報告
- ・ 献血呼びかけ・キャンペーンの告知
- ・ キャンペーンまでのカウントダウン投稿
- ・ 大阪府献血推進月間の投稿

不定期

- ・ 学推メンバーの献血報告

17



投稿や運営の工夫

投稿での工夫

- ハッシュタグを多用
- 加工や装飾を加えた写真の使用

運営での工夫

- 多団体の投稿にいいねを積極的につける
- 赤十字関係のアカウントはこちらからフォローする



18



今後の課題

Xは若年層の方がやっていないことが多い
Instagramではフォロワー以外の閲覧が少ない



TikTok、YouTube、ホームページなどの別媒体の使用
メンバーの自己紹介などより身近に感じてもらう投稿

19



ご清聴ありがとうございました



20